

第六類 第二號

(二五)

第六十三回帝國議會
衆議院

產業組合中央金庫特別融通及損失補償法案外二件委員會會議錄(速)第三回

會議

昭和七年八月二十九日(月曜日)午前十時三十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 樋口 典常君

理事堀川 美哉君 理事石川 又八君

理事枅谷 寅吉君 理事柳田宗一郎君

高橋熊次郎君 戸田 虎雄君

春名 成章君 磯部 清吉君

畑七右衛門君 星島 二郎君

渡邊 與七君 丹下茂十郎君

櫻井兵五郎君 永田善三郎君

西脇 晋君 野中 徹也君

栗原彦三郎君

同月二十九日委員櫻井兵五郎君、委員枅谷寅吉君及栗原彦三郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ横山金太郎君、柳田宗一郎君及中田正輔君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同日理事枅谷寅吉君委員辭任ニ付其ノ補闕トシテ柳田宗一郎君理事ニ當選セリ

出席政府委員左ノ如シ
内務省地方局長 安井 英二君
大藏省理財局長 富田勇太郎君
大藏省銀行局長 大久保偵次君

農林省農務局長 小平 權一君

商工省商務局長 川久保修吉君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

產業組合中央金庫特別融通及損失補償法案(政府提出)

產業組合法中改正法律案(政府提出)

產業組合中央金庫法中改正法律案(政府提出)

○樋口委員長 開會致シマス、一寸御諮リ

ヲ致シタイノデスガ、御承知ノヤウニ會期モ切迫シテ居リマスカラ、質問ヲ出來ルコトナラバ午前中ニ終リマシテ、サウシテ各

所屬黨ノ幹部ト御相談ニナル期間ヲ置イテ、午後決定シタイト思ヒマスカ、サウ云

フ積リデーツ會ヲ進行サシテ戴キタイト思ヒマス

○石川委員 昨日私ハ一應打切りマシタ

ガ、モウ一ツ此組織ノコトニ付テ伺ッテ置

キタイ、昨日色々御話モアリマシタガ、殆

ド吾々ノ意見ト農林省ノ意見ハ相違シタヤ

ウニナッテ居リマス、此場合ニ於テ產業組

合法ニ有無、無限、保證ト云フ三ツノ責任

ガアル譯デ、現在ニ於テ此三ツニ依テ創立

サレテ居リマス、而シテ今回ハ其有限ト云

フモノヲ取除ケテ保證ト無限ニ爲シタイト

云フ御希望デアルガ、吾々ハ寧ロソレニ依

テ產業組合ノ組合員ノ素質ヲ低下スルモノ

ナリト考ヘルノデアリマス、其處ニ農林省

ト吾々ノ意見ノ相違ガ出來テ居ルノデアリ

マスガ、寧ロ此場合ニ於テ此提案ヲ御撤回

下サレテ、此三種ノ責任ニ付テハ現在通り

ニヤッテ進ミ、サウシテヤハリ保證若クハ

無限ノ責任デナケレバ借入金ニ不便ヲ生ズ

ル、或ハ組織ヲ變更シナケレバ立行クコト

ノ出來ナイヤウナ組合ニ對シテハ、漸次勸

誘シテ保證若クハ無限ノ責任ニ變更セシ

メ、有限責任デ十分立行キ得ル、又優良ニ

進展シ行キ得ルモノニ付テハ、何モ此法律

ヲ以テ制限シテ有限責任ヲ無限若クハ保證

責任ニ爲ス必要ハナイノデハナイカト思

フ、此點ニ付テ更ニ農林省ノ御熟慮ヲ願ヒ

タイト思ヒマス

次ニ今回商業組合法ト云フモノガ制定サ

レルコトニナッテ、今法律案トシテ出サレ

テ居リマスガ、是ガ制定發布ニナリマスレ

バ、各種ノ商業組合ト云フモノガ興ルデア

ラウト思ヒマス、此場合ニ於テ產業組合

ト、購買組合並ニ販賣組合トハドウ云フ關

付託議案

產業組合中央金庫特別融通及損失補償法案

(政府提出)

產業組合法中改正法律案(政府提出)

產業組合中央金庫法中改正法律案(政府提出)

係ニナルノデアリマスカ、此方ガ創設サレ

タ爲ニ、產業組合ノ購買、販賣組合ニ於テ

ハ利害ノ衝突スルコトガアリハシナイカ、

或ハ統制上拘束サレテ、產業組合獨自ノ精

神ヲ没却スルヤウニナリハシナイカ、斯ウ

云フ虞ヲ持ッテ居リマスガ、之ニ對スル農

林省ノ御考ハ如何

尙ホ商工省ト此件ニ付テハ、相當御折衝

ガアツタコトト思ヒマスカラ、其内容ヲ御説

明願ヒタイト思ヒマス

○小平政府委員 御答致シマス、產業組合

ノ組織ヲ變ヘルコトニ付テ多分ニ御懸念ガ

アルヤウデアリマスガ、是ハ有限責任ヲ保

證責任ニ變ヘルダケデアリマシテ、現在ノ

拂込濟出資平均カラ觀テモ、サウ酷イ責任

ニナルノデハアリマセスト思フノデアリマ

ス、併シソレヲ組合全體ニ見マスト云フ

ト、相當ノ信用ガ出ルコトニナリマシテ、

政府カラシテ各種ノ低利資金ヲ供給スル場

合ニ於テ、今迄一番困ツタ點ハ、白地信用

ガナイト云フ點デアリマス、此改正ニ依テ

白地信用ガ全組合ヲ見マスト云フト相當ノ

額ニナリマシテ、低利資金ヲ普遍的ニ供給

スル上ニ於テハ、是非共責任限度ヲ擴張ス

ル必要ガアルノデアリマス、又組合ノ公正
ヲ圖ル上ニ於キマシテモ、全組合員ガ責任
ヲ負フデヤルト云フ制度上ノ趣旨ヲ國家ト
シテハ現ハスト云フ重要ナル意味ヲ含ンデ
居リマス、組合員ガ脱退スルトカ、或ハ組
合ノ組織ガ惡クナルト云フ懸念ハ少シハア
ルカト思フノデアリマスガ、寧ロ責任ヲ變
ヘルコトニ依テ、組合ノ平均ノ値打ガ上ル
ヤウニ考ヘラレマスノデ、何トカシテ御諒
解ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、殊ニ今
回出シマス固定貨ノ一億圓ノ供給ニ於キマ
シテモ、此信用限度ヲ擴張シテ居リマス
云フト、非常ニ滑ニ直接ニ普遍的ニ供給出
來ルノデアリマス

又農村更生政策トシテ産業組合ヲ中心ニ
シテ大ニ農村ノ振興ヲ圖ラウト云フ場合ニ
於キマシテモ、茲ニ新タニ國家トシテ責任
ヲ保證以上ニスル、少クトモ保證責任ニス
ルト云フ一ツノ制度ガ現レマシテ、ソレニ
依テ全體ノ産業組合ノ刷新ヲ圖リタイト云
フノデアリマス、出資額以上ニ保證ヲ認メ
ルノハマダ法律ニハ何等限度ヲ決メテアリ
マセヌ、或ハ施行規則ヲ決メルコトニナル
カト思フノデアリマスガ、ソレハ現在ノ
出資額位ニ止メタイト思フノデアリマシ
テ、各個人カラ見レバ、サウ澤山ナ資金ニ

ナル譯デハナイト思ヒマス、サウシテ從來
ノ幹部ノミガ責任ヲ負フト云フ點ガ輕ク
ナツテ、組合ノ經營トシテ非常ニ善クナル
ノデハナイカト思フノデアリマス、而モ是
ハ法ノ施行ト同時ニ全部ナルノデハナクシ
テ、三年ノ猶豫期ガアルノデアリマシテ、
其間ニ徐々ニ變更スルヤウニシテ居ルノデ
アリマス、其三年ノ間ニ農林省デハ極力今
度御協賛ヲ願ヒマシテ、豫算ノ中ニ這入ッ
テ居ル色ミナ經費ヲ使ヒマシテ、極力趣旨
ノ諒解、産業組合精神ノ指導ニ努メル譯デ
アリマシテ、此點ハ此法律ヲ今回改正スル
上ニ於テノ重要ナ骨子デアリマシテ、何ト
カシテ御諒解ヲ願ヒタイト思フノデアリマ
ス、是ガ出來マセヌト云フト、ドウシテモ
ヤハリ資金供給取引上ニ於キマシテハ相變
ラズ組合員ノ相當ノ無限ノ保證ヲ取り、返
サヌ所ノ場合ニ於テハソレガ各組合員ノ中
ノ有産階級ニ課ッテ行クノデアリマシテ、
是デハドウモ日本ノ産業組合ノ本當ノ使命
ヲ發揮出來ナイヤウニ考ヘラレマスガ、金
ヲ貸ス條件トシテ保證ヲ付ケタラドウカト
云フコトデアリマスガ、ソレハ個々ノ組合
ニ對シテハ甚ダ御迷惑ノコトデアアルヤウニ
考ヘマス、信用組合聯合會ハ信用組合貸付
金ノ條件トシテ、サウ云フコトニ依テ保證

責任ノ殆ド全部ト言ヒマスカ、例外モアリ
マスケレドモ、大部分ガ保證責任ニ變ッテ
來タノデアリマスガ、個々ノ組合ニ付テ貸
付金ヲ條件トシテ組織ヲ變更スルナント云
フコトハ、是ハ非常ナ不公平ナ遺方デアリ
マシテ、資金ガ返セナイモノハ斯ウ云フ金
ハ借りラレナイ、國家ノ制度トシテ認メラ
レ、バ是ハ相當國家ノ制度トシテ認メラ
スカラ、保證責任ニ變ヘル、又將來變ヘル
コトニナツテ居レバ、現在變ヘナイデモ中
央金庫アタリデ資金ヲ供給スルノハ、將來
變ハルト云フコトデ、個人ノ保證ハ今マデ
通り或ハ取ラヌデ宜イコトニナルノデアリ
マス、所ガ保證責任ニ變ヘナケレバ貸サヌ
ト云フノデハ、殊ニ應急ノ施設デアアル各種
ノ低利資金ヲ供給シ、又中央金庫ヲシテ現
在ノ範圍内ニ於テ出來ルダケ此際低利資金
ヲ出サセタイト云フ點カラ考ヘルト、ドウ
シテモ保證責任ニ變ヘテ戴イタ方ガ此制度
トシテ、又産業組合ノ根本的刷新ヲ圖ル上
ニ於テ必要缺クベカラザルコトデアアルヤウ
ニ考ヘタノデアリマス、ソレデ此點ハ産業
組合ノ各關係者ガ先月デアリマシタカ、全
國カラ百五十人バカリ代表者ガ集リマシ
テ、産業組合關係ニ於テモ保證責任ニ變ヘ
ルト云フコトニ決議ヲシテ居リマス、サウ

云フヤウナ次第國家ノ制度トシテハ是非
共此際之ヲ認メテ戴キタイト思ヒマス、三
年間ノ猶豫期間ガアリマシテ、其間ニ今御
懸念ノ點ハ農林省、地方廳、産業組合中央
會等ニ於テ極力趣旨ノ了解ヲ得ルヤウニ努
メタイト思ヒマスカラ、是ハ各個人カラ見
レバサウ大シタコトモナイノデアリマシ
テ、而モ解散ニナル場合ノ責任デアリマス
ガ、中央金庫ノ無擔保信用ヲ以テ貸スト云
フコトノ資金ノ運用方法トシテハ、ドウシ
テモ矢張り保證責任ニナツテ居ラネバナラ
ヌノデアリマシテ、又今保證責任ヲ變ヘテ
一億圓ノ金ヲ融通スルト云フノデハ中ニ間
ニ合ハナイ、ソレデ法律ヲ以テ何年カノ後
ニハ保證責任ニナルト云フコトニナツテ居
レバ、ドン／＼簡單ニ一億圓ノ資金モ融通
出來テ、滑カニ組合ノ資金ノ融通ガ出來ル
ノデハナカラウカト考ヘテ居ルヤウナ次第
デアリマス、又有限責任デ宜イト云フコト
ニナレバ、是ガ保證責任ニナツテモ何等責
任ハ來ナイノデアリマス、有限責任デ十分
債務ヲ拂ヒ、善處出來ル組合ニ於テハ保證
責任ニナツテモ、無限責任ニナツテモ、組合
ノ幹部ニモ、資力アル者ニモ迷惑ハ來ナイ
ノデアリマスカラ、是非此點ハ一ツ御認メ
ヲ願ヒタイト思ヒマス、是ガ今回ノ法律改

正ノ重要ナル骨子デアリマシテ、ソレガ又將來産業組合ヲ根本的ニ刷新シ、各種ノ資金ヲ滑ニ普遍的ニ供給シ、組合ノ中ノ有産階級ニ迷惑ヲ懸ケナイト云フコトニシテ本當ニ産業組合ノ精神ヲ發揮サセルト云フコトニハ、此改正ガ國ノ制度トシテハ重要ナルコトニ考ヘテ居リマスカラ、何卒御了解下サツテ御賛成ヲ願ヒタイト思ヒマス

保證限度ニ付テハ法律デハ何等明示シテアリマセス、施行規則デ保證金額ヲ決メルコトニナツテ居リマス、是ハ尙ホ十分當業者ノ意見ヲ容レテ適當ニ決メタイト思ッテ居ル次第デアリマシテ、以上ノヤウナ産業組合ノ根本的刷新ヲサセタイト云フ、一ツノ國ノ大キナ趣旨ガ茲ニ現ハレテ居ルノデアリマスカラ、何卒御賛成ヲ願ヒタイト思ヒマス、而シテ實際ニ於テハ非常ニ優良ナ組合デアレバ、是ハモウ保證責任ニナツテモ大シタ責任ハ來ナイノデアリマス、唯々今マデ組合ノ中ノ資産家ダケガ個人保證ヲシテ居ルト云フ組合ニ於テ初メテ之ヲ發揮サセルノデアリマス、有限責任デ優良ナ組合デアツテ、別ニ個人保證モ取ラヌヤウナ組合デアリマスレバ、是ハ何モ保證ヲ付ケテモ差支ハ起キナイノデアリマス、保證責任デアルトサウ云フヤウナ優良ナ組合デアレ

バ、又將來ノ貸付ニ付テハ組合員ガ皆相當ナ意見ヲ出シテ、各組合員ガ御互ニ責任ヲ負ヒ得ル範圍内デ取引スルコトガ出來ルヤウニナリマス、而モ幹部ガ責任ヲ負ハヌデ行クヤウニナリマスカラ、將來ニ於テモ決シテ是ガ爲ニ支障ヲ來スコトハナカラウト考ヘテ居リマス、左様ナ次第デアリマスカラ、農林省ノ改正スル趣旨ヲ御了解願ヒマシテ何卒御認メヲ願ヘルヤウニ吳ミモ御願スル次第デアリマス

ソレカラ商業組合ノコトニ付テハ商務局長ガ參ッテ居リマスカラ、商務局長カラ、産業組合ガ商業組合ニ這入ルカ這入ラスカノ御答ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、農林省トシテ商業組合法立案ノ際ニ、十分農林省ノ趣旨ヲ傳ヘマシテ、産業組合ニ支障ナキヤウニ交渉ヲ遂ゲテ居ルノデアリマス

○川久保政府委員 商業組合ト産業組合トノ關係ニ付テ御問デアリマシタガ、商業組合ハ任意組合デアリマシテ、或ル地區内ノ商業者ヲ強制シテ加入セシメル必要アル組合デアリマセス、併ナガラ此地區内ノ商業者ガ此組合ノ成立シタ後ニ加入ヲ希望シナイ場合ハ勿論加入シナイデ済ムノデアリマスガ、唯商業組合法中ニ一ツノ特例ヲ設ケマシテ、商業組合デ統制ニ關スル規定ヲ

設ケタ際ニ、其統制ノ規定ヲ地區内ニ於ケル組合員タル資格ヲ有スル全部ニ及ボス必要ガアリマス場合ニハ、主務大臣ノ命令ニ依テ其統制ノ普及スルコトヲ明示致ス規定ヲ設ケテ居リマス、隨テ此規定ノ適用ノ關係ニ於テ、或ハ其地區内ノ商業組合員デナイ商業者ト申スカ、此方デ御心配ニナツテ居ル産業組合ノ販賣組合ト申スカ、サウ云フ人ニ其命令ガ及ブコトノアリ得ル規定ニナツテ居リマスカラ、其點ニ付テハ私共トシテ既ニ他ノ法制デ統制ガ十分付イテ居ルモノマデ、此商業組合法ノ規定ニ依テ統制ヲ付ケル必要ヲ認メナイノデアリマス、隨テ今ノヤウナ場合ノ重複ヲ避ケル爲ニ、第一條ニ除外例ヲ設ケ得ル規定ヲ設ケデアリマシテ、商業者ノ範圍ニ關シテハ勅令ヲ以テ規定スルコトニ致シテ居リマスカラ、此勅令ニ依テ今ノ産業組合ノ販賣組合ト申スカ、既ニ他ノ統制ニ依テ十分ニ監督ガ出來、統制ガ付イテ居ルモノハ除外スルコトニシタノデアリマス、此點ニ付テハ商業組合法制定ニ際シテ、農林省ト能ク御協議ヲ遂ゲタノデアリマシテ、御心配ノヤウナ點ハ毛頭ナイコトヲ信ジテ居リマス

○石川委員 前段ノ組織ノ點ニ付テ私ノ頭ガ悪いノカ尙ホ了解ガ參リマセス、保證責

任トナス、是ハ甚ダ簡易ナモノデアアル、而シテ其實效ハ非常ニ重大ナモノデアアル、是非保證責任若クハ無限責任ニナスト云フ御話デアリマスガ、保證責任ガナケレバ中央金庫ヨリ借入ガ出來ナイヤウナ信用ノ少イ組合ハ保證責任ニナスガ宜カラウト思ヒマス、併ナガラ私ハ全國ノ産業組合ノ大部分ハ有限責任デアツデモ、十分ニ借入ヲ得ル信用ガアルモノト信ジテ居リマス、強イテ茲ニ法律ヲ改正シテマデモ有限責任ト云フコトヲ削ル必要ガナイノデハナイカ、斯ウ云フ考ヲ持ッテ居リマス、而モ保證責任ト云フコトニ付テノ金額ハサウ大シタモノデハナイト云フ御話デアリマスガ、果シテ然リトスレバ茲ニ重複シテ申シマスガ、法律ヲ改正シテマデモ吾ミガ素質ノ低下ヲ恐レルノヲ振切ッテ、有限責任ヲ保證責任ニ爲セト強制サレル必要ヲ認メヌノデハナイカ、斯ウ云フ觀念ヲ持チマス

尙ホ後段ノ商業組合法制定ニ付テハ、今局長カラ御話ヲ承リマシテ承知致シマシタガ、無駄ノヤウデアリマスケレドモ、此商業組合法ニ依テ産業組合ノ購買販賣組合ガ統制ヲ受ケルト云フヤウナコトガナイト承知致シテ宜シウゴザイマスカ

○川久保政府委員 御言葉ノヤウニ御承知

願ッテ差支ゴザイマセヌ

○小平政府委員 私ガ今申上ゲマシタノハ各個人ノ保證ト云フノハ大シタコトデヤナイ、斯ウ申上ゲタノデアリマス、併シ産業組合ハ御承知ノ通り現在會社トカ、銀行ノヤウニ金ヲ拂込マナイデモ組合員ノ信用ト云フモノヲ集メテ來テ、其信用ヲ通シテ大キナ信用ヲ得テ取引ヲスルト云フコトガ、産業組合ノ本旨デアリマシテ、個々ノ負擔ハサウ増サナイデモ——實際ノ現金ノ出資ハ増サナイデモ、幾分ナリ信用ヲ増スコトニ依テ、ソレヲ全體ニ集メレバ相當ノ信用ニナルト云フヤウナコトガ、産業組合ノ根本精神デアルヤウニ考ヘラレマス、隨テ私ガ今申上ゲマシタノハ保證責任ヲ負フト云フコトハ産業組合ガ愈々解散ニナツタ場合ニ、整理ニ掛ッタ時ニ責任ヲ負フト云フコトニナルノデアリマス、ソレマデキチンノト拂ッテ居レバ何モ責任ガ來ナイノデアリマス、愈々産業組合ガ拂ヘヌ場合ニ責任ガ來ルノデアリマスガ、ソレヲ個々ノ組合カラ見レバ大シタ責任ヲ増スモノデハアリマセヌ、ソレヲ總組合ニ集メテ——聯合會ニ集メテ來マスト大キナ責任ニナツテ來ルカラ、農村方面ニ多分ナ資金ノ供給ガ出來ルト云フコトヲ申上ゲタ譯デアリ

マス、例ヘバ現在一箇年一組合平均三十圓位ノ出資デアリマス、保證ヲ付ケテモ更ニ三十圓位保證ヲ付ケル位ノモノデアリマスカラ、個々ノ組合カラ見レバ大シタ責任デハナイ、御互ニ金ヲ借りテ返サヌ時ハドウシテモ責任ガ來ルノデアリマスガ、ソレガ保證ガ付イテナイト有産階級ノミニ責任ガ來ルノデアリマスカラ、矢張産業組合ノ組合員全部ニ同等ニ責任ヲ持タシタガ宜イデハナイカト云フノガ、保證ニ變ヘマシタ精神デアリマス、一人二十圓ノ保證ガ付キマシテモ各組合員カラ見レバ大シタ責任デハナイノデアリマスガ、組合全體カラ見レバ千人ノ組合デアレバ二萬圓ノ金ガ出テ來ルノデアリマス、中央金庫アタリデ資金ヲ供給スル場合モ非常ニ樂ニナルノデアリマスカラ、個々ノ組合員ハ還付ノ責任ハ大シタコトハナイ、寧ロ還付ノ責任ガ輕クナツテ組合全體ノ信用ガ増加シテ來マスカラ、資金ノ供給ノ上ニハ非常ニ便利ニナリマス又全購聯トカ、中央金庫ガ無擔保取引ヲスル場合ニ於テモ容易ニ取引ガ出來ルト云フコトニナルト思ヒマスノデ、之ニ依テ産業組合關係ガ非常ニ刷新サレルノデアリマシテ、有限責任デモ十分間ニ合フノモアリマス、アリマスガ、農村關係ニ資金ヲ出

スト云フ上ニ於テハ現在ノ資金ノ供給額デハ中ミ足ラナイノデアリマシテ、尙ホノ相當ノ資金ト云フモノヲ農村方面ニ出サネバナラヌト思フノデアリマス、中央金庫ヲシテ益々其機能ヲ發揮サセル上ニ於キマシテハ、全體ノ組合員ノ標準ガ高マッタト云フコトニナリマシテ、初メテ中央金庫自身ノ信用ガ非常ニ高マルノデアリマス、中央金庫ハ中央組織デアリマシテ、全國一萬二千ノ産業組合デ之ヲ組織シテ居ルノデアリマスカラ、其産業組合ノ信用限度ガ増シテ來ルニ從ッテ、中央金庫ノ信用ガ増シテ來ルノデアリマス、中央金庫デ發行スル債券ハ現在デハ市場ニハ出スコトガ出來ナイノデアリマスガ、今後益々中央金庫ノ機能ヲ發揮サセル上ニ於キマシテハ、中央金庫ノ債券ハドウシテモ一般市場ニ出シテ中央ノ金融機關ト取引ヲシナケレバナラヌノデアリマスガ、ソレハ中央金庫ノ債券ハ何ガ擔保ニナツテ居ルカト申シマスレバ、個々ノ産業組合ノ信用ガ擔保ニナツテ居ルノデアリマス、中央金庫デ債券ヲ發行スル場合ニハ、組合ニ貸付ケタ權利ト云フモノガ産業組合中央金庫ノ擔保ニナルノデアリマス、勸業銀行ノヤウニ不動産抵當銀行デ債券ヲ發行スル場合ハ、不動産ガ擔保ニ入ルノデ

債券ガ確實ニナルケレドモ、中央金庫ニナルト何ヲ目安ニ債券ヲ流通スルカト云フト、個々ノ加入信用組合ノ信用ガ擔保ニナルノデアリマス、隨テ全體ガ保證責任ニナツタト云フコトニ於キマシテ、茲ニ一層日本全體ノ産業組合關係ノ信用ガ増シテ來ルコトニナリマシテ、總テノ中央機關ガ之ニ依リ今マデヨリ一層取引ガ便利ニナル分量ガ殖エルコトニナルカト思フノデアリマス、現在ノ狀態デハ有限責任デモ貸シ得ルノモ相當アリマスケレドモ、更ニ一歩進ンデ金融取引ヲシヨウト云フ場合ニ於キマシテハ、矢張保證責任ニ全體ナツタ時ニ於キマシテ、ソコニ今マデノ産業組合ノ標準ガ上ツテ來ルコトニナルノデアリマシテ、而モ個々ノ組合員ノ負擔ハサウ大シタモノデハナイ、元々産業組合ト云フノハ私ガ申上ゲルマデモナク個々ノ組合ノ信用ト云フモノハ僅カデアリマスガ、出來ルダケ個々ノ組合員ノ信用ヲ集合シテ、一ツノ無カラ有ヲ産ミ出スト云フコトニ於テ産業組合ノ機能ト云フモノハ發揮サレルノデアリマスカラ、此保證責任ニ變ヘルト云フコトハ、産業組合ノ本來ノ使命ニ立戻リマシテ、今ガ最モ之ヲ斷行スル時機デアルヤウニ考ヘラレルノデアリマスカラ、此點ヲ十分御諒解

願ヒタイと思フノデアリマス

是ハ獨逸ノ産業組合ナンカハ農村ノ組合ハ全部無限責任デアリマス、日本ノヤウナ有限責任ト云フノハ獨逸ノ産業組合ニハナイ、皆保證責任以上デアリマス、農村ノ信用組合ハ一萬八千、無限責任デアリマス、市街地ノ組合ハ御承知ノ如ク「シユルツエ」式デ、有限責任デアリマス、農村ハ「ライファイゼン」式デ、全部無限責任ニナツテ居リマス、其結果獨逸ノ最近ノ狀況ヲ見マスト、千九百三十年ノ取引ハ六十億馬克デアリマス、日本ノ中央金庫ノ取引ニ較ベマスレバ六十倍ニナツテ居リマス、是ハ矢張農村組合ガ全部無限責任デアル結果デハナカラウカト思フノデアリマス、ソシナヤウナ事情デアリマスカラ、此際ドウゾ此改正ノ趣旨ヲ御了解願ヒマシテ、保證責任ニ變ヘルヤウニ致シタイと思フノデアリマス、其間約三箇年ノ猶豫期間ガアリマスカラ、其間ニ農林省デハ職員ヲ督勵シテ、各組合員ニ十分了解ヲ得ルヤウニシタイと思フノデアリマスカラ、重ネ重ネ申上ゲルヤウデアリマスカラ、此趣旨ヲ十分御了解願ヒマシテ、何卒御認メテ願ヒタイと思フノデアリマス

○石川委員 更ニモウ少シ御尋シタイノデ

アリマス、百歩ヲ譲ッテ保證責任、或ハ無限責任ト變更スルト云フコトニナリマシタナラバ、現在ノ有限責任ニ於テハ、一口以上五十口以内ト云フヤウナ數ヲ持ッテ居ル、ソレガ例ヘバ二倍ノ保證責任ト云フコトニナリマスレバ、一口ノ拂込ガ三十圓トシマ

スレバ、一口ノ加入ヲシテ居ル人ハアト三十圓ノ保證ヲスル、五十口ノ加入ヲシテ居ル人ハ三五ノ千五百圓ノ保證責任ガアル、斯ウ云フ風ニ看做シテ宜シウゴザイマスカ、詰リ株券ノ拂込ガ五十圓ノモノガ二十五圓拂込マレテ居ッテ、アト二十五圓ハマダ拂込未済ニナツテ居ル、ソレデ二十五圓ダケノ保證責任ガアル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ差支ナイノデアリマスカ、一寸伺ヒマ

ス

○小平政府委員 大體ソシナコトニ考ヘテ居リマスカ、是ハマダ確定シテ居リマセヌ、是ハ最前申上ゲマシタ通りニ、同業者ノ決議モアリマスノデ、此限度ニ付キマシテハ、産業組合中央會邊リニ諮問致シマシテ、十分支障ナキヤウニ致シタイと思ッテ居リマス、今御話ノ點以上ニハ、是ハ考ヘテ居リマセヌガ、實際日本ノ産業組合ガ此變更ニ依テ御話ノヤウナ處ガアッテハ、是ハイカスト思フノデアリマスカラ、其點

ハサウ云フ虞ノナイヤウニ、十分施行規則ヲ制定スル場合ニ關係者ノ意見ヲ聽イテ、適當ニ決メタイと思ッテ居ル次第デアリマス

○石川委員 其保證ノ限度ガ茲ニ示サレナ

イト云フコトニナルト、吾ミハ益、ドウモ本案ニ贊成スルコトガ出來ナイヤウナコトニナリハセヌカト思フノデアリマス、ドウ云フ保證責任ガ附帶シテ來ルカ、唯保證責任ヲ爲セト云フコトサヘモ危ンデ居ル次第デアアル、ソレニ保證責任ノ限度ガ分ラナイト云フコトニナレバ、益、ドウモ本案ニ無條件デ贊成スルコトガ出來ナイコトニナリヤシナイカト思ッテ居ル、ソレト大藏省ノ方カラ御見エニナツテ居リマスカ、今度産業組合法ヲ改正ニナツテ、組合ノ責任ガ保證若クハ無限ト云フコトニナリ、漸次刷新サレルコトニナツテ居リマス、現在ニ於テモ、各農村ニ産業組合ガ普及シタ結果、地方ノ農村銀行ニハ相當ニ預金ノ取立、取付ト云フヤウナコトニ依テ、地方ノ普通銀行ハ脅威ヲ受ケツ、アルト信ジマス、是ガ益、發達シテ行クニ從ッテ、正比例ニ地方ノ普通銀行ハ困難ヲ感ズルコトニナルト思ヒマス、之ニ對シテ大藏省、殊ニ銀行局ニ於テハ、ドウ云フ對策ヲ御持チニナツテ居ルカ、之ニ

付テ一通リノ御説明ヲ願ヒタイ

○小平政府委員 御尋ノ限度ニ付テ分ラヌ

ト申上ゲタ譯デアリマセヌデ、今御說ノヤウニ出資一口ニ付テ更ニ出資一口ニ該當スル責任限度位ノ程度以上ニハ強制シナイ、斯ウ申シタ譯デアリマス、ソレ以上ニ多クナル御心配ハナイト云フコトヲ申上ゲタダケデ、其位ノ程度デ宜イカドウカハ、更ニ中央會ニ御聽キシテ遺憾ナキヤウニシタイト思ヒマスカ、今農林省デ考ヘテ居ルコトハ、出資一口ノ金額ダケヲ保證スルト云フ以上ニハ施行規則デハ規定シナイ、ソレガ先ヅ規定スルトシテモ最高限度ダラウ、是ハ隨時責任ヲ多クスルノハ自由デゴザイマスカ、サウ云フヤウニ考ヘテ居ルト云フコトヲ申上ゲタ譯デアリマス

○大久保政府委員 本會ニハ初メテ參リマ

シタノデ實ハ今迄ノ經過ヲ承知致シマセヌ爲ニ、御答ガ十分デナイカモ知レマセヌガ、其際ニハ又更メテ御尋ヲ願ヒタイト思ヒマス、只今御尋ニナリマシタ後ノ方ノ點ハ、信用組合ガ發達スレバ、同ジ地域ノ地方銀行ノ或モノガ影響ヲ受ケテ、營業上困難ヲ感ズルノデナイカ、ソレニ付テハ大藏省ハドウスル積リダト云フヤウナ御趣旨ト承リマシタ、御承知ノ通り銀行モ金融機關

デゴザイマシテ、信用組合モ一種ノ金融機關デアラウト思フノデゴザイマス、双方共ニ金融機關トシテ同ジ場所ニ於テ仕事ヲシテ行ク上ニハ、或意味ニ於テ競合ト云フコトハ免レナイコトカト思ヒマス、其點ニ於テハ不幸ニシテ日本ノ郵便貯金制度モ、或意味ニ於テハ影響ガアルヤウニ思ヒマス、他ノ場所ニ於テ大藏大臣カラ申サレマシタ通り郵便貯金、銀行、信用組合ト云フヤウナモノガ、各其本然ノ方向ニ十分ニ向ッテ居ラスト云フ風ナ嫌ガアリマスルガ爲ニ、今御尋ノヤウナコトハ遺憾ナガラ實際問題トシテハゴザイマス、何トカシテ其各ノ使命ノ赴ク所ニ向ケタイト云フ積リデ居リマス、銀行ニ付テハ御承知ノ通り昭和二年ノ議會デ新シイ銀行法ニナリマシテ、昭和三年ノ一月一日カラ今日ノ銀行法ガ施行サレテ居リマス、之ニ依リマスルト云フト、大體ニ於テ銀行ハ人口一萬未満ノ地ニ於テハ五十萬圓、一萬ヲ超エルモノニ付テハ百萬圓、大阪、東京ノ二大都市ニ於テハ二百萬圓以上ト云フコトニ、ソレ／＼資格ヲ上ボセマシタ、何レカト言ヒマス、マア理窟通リニ行キマスレバ大體ニ於テ銀行ハ大キナ資本ヲ以テ働クヤウナ、斯ウ云フ建前ニナッテ居リマス、銀行發達ノ沿革等ヲ諄

諄シク申上ゲルコトモ煩ハシイコトデアリマスガ、大體ニ於テ信用組合ハ對人信用ヲ目的トシテ小範圍ニ於テ行ハルベキデアリマス、銀行ハ必ズシモ無擔保貸付標準ニ致シマセヌ、大體ニ於テハ預金ヲ中心ニ致シマシタ、所謂預金銀行、ソレデ働ク仕事ハ主ニ其地方ノ預金ノ性質ニ適フヤウナ貸出ヲシテ行ク、ソレニ依テ銀行ノ取引ヲ發達助長サセル、斯ウ云フ風ナ建前ニ法律ガ出來テ居リマス、若シ此法律ガ豫期シテ居ル方法通りニ行ハレテ行キマスナラバ、大體ニ於テ農村ノ信用組合ハ農村ノ實情ニ適應シタヤウニ、市街地ノ信用組合ハ其市街地ノ實情ニ適應シタヤウナ具合ニ、ソレ／＼組合員相互ノ間ニ於テ、出來ルナラバ無擔保ノ信用ト云フコトヲ標準ニシテ、出來ルダケ其經濟活動ヲ圓滑ニシテ行クヤウナ方面ニ働イテ行クベキモノデアリマス、銀行ハ一般的ノ預金ヲ公衆カラ預リマシテ、其預金ノ性質ニ隨ヒマシテ、ソレ／＼ノ短期若クハ一定ノ期間ノ取引ヲ致シマス、同様に擔保等モ銀行取引ニ適應シタヤウナモノヲ取扱ッテ行クト云フ風ナ具合ニ致シマシテ、機關ノ重複ヲ避ケテソレ／＼ノ銀行ノ使命ヲ發達サセテ行クト云フ風ナコトヲ此法案ハ目標ト致シテ居リマス、此法律ノ

出來ルニ付キマシテハ、朝野ノ權威者ヲ集メマシテ、金融制度調査會ニ於テ其趣旨ヲ決議致シマシテ、今日ノ改正法規ニナッタ次第デアリマス、併ナガラ其法律ノ目的ト致シテ居リマス趣旨ガ、全部貫徹シテ居ルカドウカ、斯ウ云フ風ナ問題ニ至リマシテハ、大體ニ於テ貫徹シツ、アルト思ヒマス、其當時ニ於ケル銀行ハ可ナリ數ガ多クアリマシテ、日本ノ銀行ハ最初濫設ノ傾キガアリマシタノデ、一時ハ全國ノ銀行數ガ二千ヲ超エタコトモアリマス、現ニ此法案施行當時モ千ヲ超エテ居リマシタ、今申シマシタ通り銀行ハ銀行ノ固有ノ働キニ移スガ宜シイト云フ決定カラ致シマシテ、ソレソレ法律モサウ出來マシタ、其制度ノ趣旨ニ付キマシテハ、行政上モ其心得デヤッテ居リマス次第デスガ、漸次ニ銀行ハ固ッテ參リマシテ、今日デハ普通銀行ノ數ハ、全體ニ於テ六百三十ト云フ數字ヲ示シテ居リマス、其中ニ此法律ノ適用ニ依リマシテ、資格ヲ失フモノガ百七モ包含サレテ居リマス、此百七ノ銀行ニ付キマシテハ、今日ノ法律デ行ケバ、今年中ニ増資スルカ、若クハ他ノ銀行ト合併スルカ、或ハ目的ヲ變更シテ信用組合ニナルトカ、或ハ他ノ業務ニナルトカト云フヤウナ方面ニ向フベキ

モノデアリマシテ、既ニ其内二十三行バカリダト思ヒマスガ、是ハソレ／＼ノ手續ヲ採リマシテ、今日大藏省ノ認可申請中ニ屬スルノデアリマス、ソレヲ差引キマシタ殘リノ銀行ガ八十幾ツ殘ル譯デシテ、此中ニモ尙ホ六十バカリハソレ／＼ノ計畫ノ進行ヲ致シテ居ル次第デアリマシテ、ソレヲ差引キマス、殘ルモノハ僅カニ二十幾ツト云フモノニナルト思ヒマス、此二十幾ツト云フモノニ付テモ、其期間中ニ出來ルダケ、他ノ銀行ト合併サセルトカ、或ハ増資ノ出來ルモノハ増資ノ方ニ向ケルトカ、ソレソレノ處置ヲ付ケテ、金融界ニサシタル變動ヲ起サズニ此法ノ目的ヲ達セヤウト思ッテ居リマス

過去五箇年近クノ間、法律ノ趣旨ニ基キマシテ、大體ニ於テ六百十七行デアリマシタノヲ、今日五百十行ト云フモノヲ整理致シマシテ、殆ド八割何分ト云フモノハ整理ガ付キマシタ、殘ル所ハ極ク僅カデ一割何分ト云フモノデアリマシテ、其中デモ進行中ノモノガ二十何行、進行ノ約束ニナッテ居ルノガ六十行、殘リハ極ク僅ニナッテ居リマスノデ、今年中ニハ是非當業者トモ懇談ノ上、且金融界ニモ十分ナ注意ヲ致シマシテ極ク平和ナ間ニ此法ノ目的トシテ居ル

ヤウニ片付ケヨウ、斯ウ云フ風ナ趣旨デ居
リマス、斯ウ云フ風ナ具合ニ銀行法ガ所謂
銀行ノ理論ノ通りニ直接ニ行キマセヌデ
モ、大體ニ於テ其目的ヲ達スルヤウニ法律
ガ出來テ居リマスカラ、其目的ニ向ッテ此
銀行ヲ指導獎勵致シテ行キマス、部局的ノ
モノニ付テハソレ／＼信用組合ヲ發達サセ
テ行キマシテ、一ハ銀行ノ取引ノ方デ行キ
マス、一ツハ信用組合ノ固有ノ相互扶助、及
無擔保主義ヲ採ルト云フ風ニ進メテ行キタ
イ、斯ウ云フ風ナ具合ニ農林省トモ折角折
衝中デアリマス、左様御諒承ヲ願ヒマス

○石川委員 此組合ト銀行關係ニ付テハ今
銀行局長ノ御話ニ依テ大體諒承致シマシ
タ、今度ハ產業組合ノ方デゴザイマスガ、
事業年度ヲ六箇月ニ爲シ得ルト云フコトニ
改正セラレテ居ルヤウデアリマス、第四十
七條但書ニ「六箇月ト爲スコトヲ得」トナッ
テ居リマスカラ、爲シタクナイ者ハ爲サナ
クテモ宜シイト云フ、斯ウ云フ反面ノ理由
ガアリマス、併ナガラ現在ノ信用組合ニ於
キマシテ、一箇年一回ノ事業報告ニ付キマ
シテモ相當ニウルサク考ヘテ居ル、總會
ヲ開會致シマシテ、少クトモ半数以上ノ組
合員ヲ集合シナケレバナラス、半数以上ノ
組合員ヲ集合サセル爲ニハ各組合ハ各種ナ

催シヲ致シマシテ、或ハ特ニ辨當ヲ出スト
カ、或ハ福引ヲ行ッテ、サウシテ組合員ヲ
集合サセルトカ云フヤウナコトニ依テ一箇
年ノ總決算ノ總會ヲ行ッテ居ル、之ヲ半期
毎ニ、六箇月毎ニヤルト云フコトハ非常ニ
煩雜ヲ來スコトニナリマスガ、此六箇月ト
爲スト云フコトニ付テハ、特ニ市街地ノ信
用組合トカ、或ハ消費組合トカ云フヤウナ
モノニ必要ガアルカノ如ク聞イテ居リマス
ガ、ソレトスルナラバ市街地組合、若クハ
消費組合ニ於テハ六箇月ト爲スコトヲ得ト
云フヤウナ具合ニヤッテ戴イタラドウカ、
最初定款ヲ以テ六箇月ト爲スコトヲ得ト云
フヤウナ法律案ヲ拵ヘテ、後ニハ漸次ニ無
理ナ強制ノ勸誘ヲシテ各組合共ニ六箇月ニ
爲スト云フヤウナ底意ガアルカモ知レヌ、
サウ云フコトニナッテハ却テ組合ノ出資ノ
整理上煩雜ヲ來スコトニナルト思フ、此點
ニ付テ農林省ノ御意見ヲ承リタイ

○小平政府委員 此六箇月ト爲スコトヲ得
ト云フ四十七條但書ノ改正ノ點ハ、御説ノ
通りデアリマシテ、主トシテ大キナ聯合
會、例ヘバ全國購買聯合會トカ、全販聯ト
カ、サウ云フ大キナモノト、市街地ノ組合
ヲ豫想シテ居ルノデアリマシテ、決シテ此
規定ニ依テ、法律ノ制定後組合ニ迷惑ヲ蒙

ラセルト云フ意思ハ全クナイノデアリマ
ス、農村組合ノ關係ハ全然是ハ考ヘテ居リ
マセヌ、主トシテ市街地ノ組合、消費組
合、ソレカラシテ大キナ組合、特殊ナ組
合、例ヘバ製絲組合デアリマス、サウ
云フモノガ六箇月ニシタイト言フ場合ニ、
現在ノ法律デハ六箇月ニナリマセヌカラ、
法律デサウ云フコトニ爲シ得ルコトニシタ
ノデアリマス、之ヲ改正スル意思ハ全クア
リマセヌ、ソレデ中央金庫ノ認メテ居リマ
ス大キナ組合、是ハ寧ロ六箇月ニシテ戴イ
タ方ガ宜クハナイカト云フ考ヲ有ッテ居ル
ノデアリマス、大キナ團體ニナリマス、ト云
フト、現在商會社ノ如キハ、皆六箇月ニ
ナッテ居ル、半年々々決算ヲシテ事業報
告ヲシテ、サウシテ總會ニ懸ケテ、後年度
ノ事業ニ付テ組合員ノ希望ヲ容レ、前半年
デハ何分ノ配當ヲシタケレドモ、後半年デ
ハ配當ハ出來ナイ、配當ガ減ルト云フコト
モアリマス、ソレカラ前半年ノ貸付限度ガ
決メラレテ居リマシテ、後半年度ハ貸付限
度ヲ増サナケレバナラスコトモアルノデア
リマス、殊ニ中央金庫ニナリマス、前半
年ト、後半年ニ於キマシテハ、貸付限度モ
變ヘナケレバナラス、又前半年ノ經理ノ
模様ニ依テ、後半年度ヲ斯ノ如クニシテ費

シマウト云フ總代ノ希望モ多クアルノデゴ
ザイマシテ、隨テサウ云フ大キナモノニナ
リマス、年ニ二回總會ヲ開イテ、總會或
ハ總代會ノ意思ヲ十分理事者ニ聞カセルコ
トガ必要アルヤウニ考ヘラレルノデアリ
マス、又行政官廳ノ監督トシテモ、中央金
庫ナリ全購聯ノヤウナモノニナリマス、ト年
度末ノ決算ヲ見テ注意シタノデハ足りナイ
點ガアルノデアリマス、半年見テ居ッテ注
意ヲスレバ、個々ノ組織員ニ非常ニ利益ニ
ナツコトモ、年度ガ過ギテシマツコト
ニナリマス、何トモ仕方ガナイコトニナ
リマス、ト云フ大キナモノニ限ッテ
ハ六箇月ニシタイト云フ場合ニハ、是モ勿
論中央金庫デモ總代ノ意見ヲ聽ク譯デアリ
マスガ、併シ中央金庫ノ方ハ法律デ以テ六
箇月ニサシテシマウト云フコトニ致シマシ
タ、中央金庫以外ニハ總テ總會ノ決議、總
代會ノ決議ニ依テヤルノデアリマシテ、是
ハ強制スル意思モ何モ有ッテ居リマセヌ、
併シ中央金庫ハ如何ニシテモ大キナ金融機
關デアリマスカラ、六箇月毎ニ必ズ決算ヲ
シテ、總代ヲ集メテ意思ヲ諮フト云フコト
ニセヌト云フト、總代ノ不公平ガ色ミアルノ
ニ、理事者ガソレヲ聽カナイデ一年過ギテ
シマウト云フヤウナコトニナリマシテ、ド

ウモ中央金庫ノ運用ガ個々ノ組織員ノ意思ニ副ハナイヤウナ點ガ從來アリマシタノデ、總代ノ意思ヲ十分聽イテ運用ヲ確實ニスル、又今回ノヤウナ場合ガアルナラバ、臨時總會ヲ開カケレバナラヌコトニナリマス、資金ノ借入限度ガ既ニ總會デ決定シテ居リマシテ、今度ノ特別融通ニ付キマシテハ、或ハ總會ヲ開ク、或ハ總代會ヲ開カナケレバナラヌコトニナルト思ヒマス、サウ云フ金融機關ト云フモノハ時々刻々違ッテ來テ居リマスカラ、年ニ一回デハ總代會ガ少ナイ、斯ウ考ヘタ譯デアリマス、其他ノ組合ハ全然自由デアリマシテ、何等強制スル意思ハ有ッテ居リマセヌデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○石川委員 産業組合ニ付テモウ少シ御尋シタイト思ヒマスガ、内務省ノ地方局長ノ出席ヲ求メテ置キマシタケレドモ、中央金庫ノ方ノ第十五條ノ餘裕金ノ事ニ付テ今回ハ多少有價證券ノ買入等ニ付テ緩和サレタヤウニ思ヒマスガ、之ニ尙ホ一步ヲ進メテ、短期債券、詰リ短期ノ貸付ヲ許スコトニスル、「コール」ニ出スト云フヤウナコトヲ承認サレハ譯ニハ參リマセヌカ、實ハ是ハ農林省デハソレダケ御決心ガアッタト云フコトヲ伺ッテ居リマスガ、大藏省方面カ

ラ幾ラカ阻止サレタト云フヤウナ噂ヲ聞イテ居リマス、是ハ短期デ出スト云フコトハ短期間ノ資金ヲ死藏スルト云フヤウナ虞ヲ防グコトニ付テ餘程有用デヤナイカト思フノデアリマス、之ニ對スル御意見ヲ伺ヒタイ

○小平政府委員 中央金庫ノ餘裕金ノ運用ニ付キマシテ、其限度ヲ擴張セネバナラヌト云フコトハ、既ニ産業組合會ニ於テハ何遍モ是ハ決議サレテ居ルコトデアリマスノデ、農林省ト致シマシテ、此際此問題ヲ解決シタイト云フノデ、色ミト考ヘテ見マシタノデアリマスガ、ドウモ此際ノ臨時立法ト致シマシテハ、色ミ之ニマダ考フベキ點モアリマシテ、資金ガ餘ッテ居ッテ、ソレヲ銀行ニ放資スルト云フコトヲ行フト云フコトハ、色ミノ點ニ於テ差支ガアルヤウニ考ヘラレマス、此際農村ニ中央金庫ノ餘裕金ヲ振ッテ出サナケレバナラヌト云フヤウナ意味ニ於テ、此際銀行ニソレヲ放資スルト云フコトハ、臨時對策トシテハ如何ナルモノデアルカト云フヤウナ理由モ考ヘマシテ差控ヘタノデアリマス、併シ此點ハ産業組合行政ニ當ル私トシテハ出來ルダケ是ハ今後努力シテ此點ヲ解決シタイト思ッテ居リマスガ、今回ハ色ミナ理由デ此點ハ差控ヘ

タノデアリマスガ、將來機會ガアレバ是非共此問題ハ解決シタイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

○石川委員 御趣旨ハ能ク分リマシタガ、屢々命令著改的ニ法律案ヲ改正スルト云フ事ハ不可能デアラウト思ヒマス、農村ノ借入ハ一箇月トカ、二箇月トカ、短期ノモノデハ到底行カナイ、農村ニ中央金庫ヨリ貸付ケルモノハ、少クトモ一箇年以上デナケレバナラヌ、デ此間ニ相當ナ餘裕金ヲ生ジタ場合ニ二箇月トカ、或ハ一箇月半トカ云フ短期ノ期間ヲ以テ一時「コール」ニ出スト云フ事ハ、ヤハリ中央金庫ノ利益ヲ擧ゲル上ニ於テ非常ニ有利デアルト思フ、此點ニ御賛成下サルナラバ、此際一項ヲ加ヘテ戴ク譯ニハ行カヌカ、尙ホ此點ニ付テ詳細ニ御説明ヲ願ヒタイ

○小平政府委員 現在ノ所デハ此主務大臣ノ認可ヲ受ケタル有價證券ノ買入ト云フ規定デ先ヅ事足リルト考ヘテ居ル譯デアリマシテ、今回其點ヲ考慮スルト云フコトハ、甚ダ困難デアルヤウニ考ヘテ居リマス、今回ハ此程度ニ於テ御認めヲ願ヒマシテ更ニ機會ガアツテ、總テノ方面ヲ考慮シテ、支障ナキ場合ニ考ヘルコトニ致シマシテ、今回ハ先ヅ有價證券ノ買入ト云フコトニ依テ、

相當規模ガ擴張サレマスカラ、此邊デ當分ノ間ハ遺線スルト云フ程度以上ニハ、今ノ所進ミ得ナイト考ヘテ居リマス

○石川委員 私ハ内務省ノ地方局長ニ出席ヲ求メテ、産業組合ト自治團體ノ關係ニ付テ少シク尋ネテ見タイト思ヒマスガ、マダ御出席ハアリマセヌカ

○樋口委員長 マダ見エテ居リマセヌ

○石川委員 ソレデハ私ハ質問ハ後ニ致シマス

○戸田委員 私ハ特融ニ付テ二三點伺ヒタイト思ヒマス、三千萬圓ノ損失補償ト云フノハ一億圓ヲ貸付ケタ場合ニ對スル三千萬圓デアルガ、若シ是ガ八千萬圓デアッタト云フ時ニハ二千四百萬圓デ間ニ合フノデアルカ、ソレカラ更ニ伺ヒタイノハ、損失補償デアリマス爲ニ、八千萬圓ヲ貸付ケタト假定致シマシテ、一千萬圓ノ利子ノ未納ガ出來タ、利子ノ未納ハ即チ損失デアルガ故ニ、八千萬圓ノ貸付ニ一千萬圓ノ利子ノ未納ヲ加ヘテ九千萬圓ヲ基準トシテノ損失ノ補償案ヲ提出セラレルノデアルカ、私ハ其邊ノ基準ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス

次ニ伺ヒタイノハ損失ノ基準ト云フコトデアル、損失ノ基準ト云フノハ、嚴格ニ解

釋スルト否トニ依ッテ大分問題ガ起キルノ
デアリマス、損失ノ基準ト云フノハ其貸付
ケタ金ヲ清算セシメ、或ハ其貸金ニ付キ連
帶保證、臨時管理者ノ保證ガアツタ場合ニ
ハ、ソレ等ヲモ破産セシメテ、而シテ残ッ
タモノヲ損失補填スルノデアルカ、其基準
トナツタモノハ、此特融ヲ借リル上ニ於テ
非常ニ支障ヲ來スト思ヒマスカラ、其基準
ノ要點ヲ明確ニ承リタイ

次ニ損失ハ損失審査會ヲ催ス、組織スル
ト云フコトデアリマスルガ、此審査會ノ組
織ハ多分政府ガ命ゼラレルダラウト思ヒマ
スガ、政府ニノミ一任シマシテハ、政府ニ
都合ノ好イ人ノミヲ審査委員ニセラレル事
デアラウト思フノデアリマスノデ、是ハ少
クモ審査委員會ノ半數以上ハ産業組合ノ人
ヨリ出サレル、左様ナ御考ハ農林當局ニナ
イモノデアアルカト云フコトヲ伺ヒタイ

モウ一ツノ點ハ今回ノ特融ハ政府ガ出ス
所ノ金ノ利息ハ五分六厘デアリマシテ、中
央金庫ガ借リルニハ五厘ノ手數ヲ取ッテ六
分一厘、又聞ク所ニ依レバ、勸業銀行ハ不
動産資金ニ對シテハ五分六厘ノ利子ニ、之
ニ六厘ノ手數ヲ取ッテ六分二厘デアルト云
フコトニ承ッテ居ルガ、果シテサウデア
ルテ致シマスレバ、同じク政府ノ資金デアリ

マシテ、一方ノ中央金庫ハ六分一厘、一方
ノ勸業銀行ハ六分二厘ト云フヤウナ不公平
ノ貸付ハ甚ダ遺憾デア、吾ミハ多少産業
組合方面ニ關係シテ居リマシテ、吾ミノ産
業ノ中樞機關デアリマス中央金庫ノ相當ニ
健實ニ發展スル事ヲ望ンデ居ルノデアリマ
ス、兎ニ角此金利ハ少クモ勸業銀行ト同様
ニ御定メヲ願ヒタイト思フノデアリマス、
其點ニ付テ六分一厘ト、六分二厘ト區別セ
ラレタル理由ハ何處ニアルカ、之ヲ承リタ
イト思フノデアリマス

ソレカラモウ一ツ伺ヒタイノハ、特融ノ
貸付ノ技術ノ點デアリマス、今回ノ特融ハ
中央金庫ニ信用財源、又ハ擔保財源ヲ質權
ニ設定シテ、其登記ノ手續ガ完了シタ上ニ
初メテ融通ヲ受ケルノデアリマスルガ、此
債權質ヲ設定スルト云フコトハ非常ニ時間
ト手數ヲ要スルモノデアリマス、實際問題
ト致シマシテ、到底急場ノ間ニ合フコトガ
出來ナイヤウニ私共ハ考ヘテ居ルノデアリ
マス、特ニ今回ノ特融債權ハ數通若クハ數
百通ト云フモノヲ取纏メテ質權ヲ設定スル
ノデアリマスカラ、恐ラクハ想像以外ノ時
間ヲ要スル事ト思フノデアリマス、吾ミハ
從來勸業銀行又ハ中央金庫ヨリ債權質ニ依
テ融通ヲ受ケタ例證ヲ知ッテ居リマスガ、

斯様ナ場合ニハ早クモ半年遅キハ一年、先
ヅ通例七八箇月ノ期間ヲ要スルノデアリマ
シテ、到底急ニ應ズルト云フヤウナコトハ
出來ナイノデアリマス、御承知デモゴザイ
マセウガ、此債權質ノ大體ヲ申上ゲマスル
ト先ヅ債權ノ種類ヲ明記致シマシテ、中央
金庫ニ借入ノ申込ヲスル、サウスルト中央
金庫ハ一應「卓子」ノ上ノ調査ヲシテ、更ニ
其地ニ出張スルカ、若クハ其縣ノ吏員ニ調
査ヲ委託スルノデアリマス、其調査ニ合格
シマスレバ、中央金庫ノ所在地ナル東京市
ノ公證人ニ依テソレヲ公正證書ニスル、其
公正證書ヲ借受組合ガ其區域ニ屬スル地方
ノ區裁判所ニ送ッテヤッテ、登記ヲスルト云
フヤウナ順序ニナッテ居リマス、斯ク申シ
マスルト極メテ簡單ノヤウデアリマスル
ガ、其公證ト登記ト云フノハ非常ナル時間
ヲ要スルモノデアリマシテ、登記ニ於テハ
地番等ノ些細ナル誤謬ヲ發見致シマスル
ト、之ヲ公證人ニ返附シテ訂正セシムルト
云フヤウナ手數ヲ幾回モ繰返ス事ガアルノ
デア、又地方ノ裁判所ニ於キマシテハ、
登記所ノ書記ト云フモノハ通例二人カ三人
切りデアリマスルガ爲ニ、其日其日ノ登記
ノ分量ト云フモノハ自ラ制限セラレテ居ル
ノデアリマシテ、斯様ナル點ヲ考ヘマスル

ト非常ニ時間ヲ要スルノデアリマス、今回
ノ特融ハ登記ノ手續ヲ完了スルマデ當分其
組合ニ屬スル所ノ擔保ノ危険ハ中央金庫ニ
補償ヲシテ貰ッテ、申出金額ノ或ル程度迄
ヲ融通スルト云フヤウナ暫定的ノ方法ヲ講
ジテ、サウシテ其手續ノ全部完了シタル後
ニ殘金ヲ渡スト云フヤウナ手續ヲ講ジナケ
レバ、此特融ハ極メテ效用ノ薄イモノト考
ヘルノデアリマス、斯様ナル點ニ付テ斯ル
便法ヲ御選ビニナル御考ガアルカ、ナイカ、
其邊ノ事ヲ御聽キシタイノデアリマス

○小平政府委員 御質問ノ點ニ御答致シマ
ス、第一ノ點ハ、一億圓融通シテ、ソレニ
三千萬圓デアアルカラ、八千萬圓ノ場合ニ於
テハ其割合ニ依ッテ損失ノ補償ヲ減ズルデ
アラウト云フ御質問デアリマシタガ、其通
リデアリマス、貸付一億圓ニ對シテ約三千
萬圓考ヘテ居ル次第デアリマスカラ、其割
合ニナルカト思フノデアリマス、是ニ細イ
規定ハマダ出來テ居リマセヌガ、大體其見
當デ細則ガ出來ルモノト考ヘテ居リマス
ソレカラシテ利子ヲ拂ハナイ爲メノ損失
モヤハリ此損失ニ入ルノデアリマス、一切
ノモノヲ入レテノ損失ヲ計算シテ居ルノデ
アリマス
ソレカラ損失ノ審査ノ場合ニ於テ組合ガ

破産スルマデ行カナケレバナラヌカト云フ御尋デアリマシタガ、是ハ左様ニ考ヘテ居リマセヌ、組合ヲ破産シテマデモ取ルト云フコトニ依ッテ果シテ損失ガ出ルト云フ事ニハ考ヘテ居リマセヌ、是ハヤハリ産業組合ノ利用刷新ヲ圖リ、殊ニ産業組合ノ固定貸ヲ融通サセンガ爲メノ制度デアリマスカラ、ソレガ爲ニ産業組合ノ破産マデモ持來スト云フヤウナ事ハ考ヘテ居リマセヌ、是ハ適當ナ方法デ適當ノ時ニ損失ヲ回收致スヤウニ致シタイト思ヒマス

ソレカラ損失審査委員ニ産業組合關係者ヲ入レタラドウカト云フコトデアリマスガ、此委員會ノ組織ニ付テハマダ決定シテ居リマセヌガ、御意見ノ點ハ洵ニ御尤デアリマスカラ、出來ルダケ産業組合ノ關係者モ其中ニ入レマシテ、委員會ヲ組織サセタイト考ヘテ居リマス、是ハ勿論大藏省ト兩省デ損失ノ審査ヲスルコトニナリマスカラ其場合ニ於キマシテハ、十分其點ヲ入レルヤウニ致シタイト思ッテ居リマス

ソレカラ金利ノ點ニ付キマシテ、中央金庫ハ五厘ノ利ヲ取リ、勸業銀行ノ方ハ六厘ノ利ヲ取ルト云フコトニ大體方針ガ決ッテ居ルノデアリマスカラ、是ハ中央金庫ノ方ハ勸業銀行ト違ヒマシテ、營利ノ機關デ

アリマセヌシ、所得稅、營業稅ヲ免除サレテ居ル公益的ナ金融機關デアリマスカラ、ソコニ多少ノ差ヲ付ケテ、個々ノ農村ノ組合ニ少シデモ安イ金ガ行クヤウニト云フコトヲ考ヘテ、僅カナガラノ差ヲ付ケタノデアリマシテ、中央金庫當事者ハ或ハ六厘ヲ要求スルカモ知レマセヌガ、農林省側カラ見マスト云フト、中央金庫ハ普通ノ銀行ト違ッテ營利デ仕事ヲ營ンデ居リマセヌノデアリマスカラ、出來ルナラバ多少ノ差ヲ付ケテ中央金庫ガウント働イテ、銀行當事者ヨリハ少シデモ安ク農民ニ金ノ渡ル方ガ、却テ中央金庫ノ本來ノ精神ニ適フノデハナイカト云フヤウナ意味デ、多少ナリ差ヲ付ケタノデアリマス、別ニ不公平ト云フ意味デハナクテ、寧ロ其方ガ中央金庫ノ本來ノ使命ニ適ッテ居ルノデハナカラウカト考ヘタノデアリマス

ソレカラ貸付ガ非常ニ手間取ルト云フ御懸念デアリマス、是ハ御尤ノ御心配デアルカト思ヒマス、從來中央金庫ノ色ミナ貸付手續ヲ見マスト云フト、色ミ錯綜シテ手間取ルトハ事實デアリマス、今回ハ特別ノ臨時對策トシテ一億圓ノ金ヲ農村ニ出サセルノデアリマスカラ、是ハ十分中央金庫ト打合セマシテ、速ニ此金ガ普遍的ニ農村ヘ

廻ルヤウニ致シタイト思ッテ居リマス、今中央金庫ヨリ一部貸付ケテト云フ御話モアリマシタガ、是ハ中央金庫ト能ク打合セマシテ、尙ホ資金供給ノ大藏省ノ方トモ能ク打合セマシテ、出來ルダケ御希望ニ副フヤウニ努力致シタイト思ッテ居リマスカラ、是ハ中央金庫自身ノ理事者ノ責任ノ關係ニナリマスノデ、ハッキリ今御答ハ出來マセヌガ、出來ルダケ御希望ニ副フヤウニシテ簡單ニ早く普遍的ニ此資金ガ出ルヤウニ努力シタイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス、左様御諒承ヲ願ヒマス

○石川委員 産業組合ノ刷新並ニ進展ト云フコトニ付テハ、農林省ハ非常ナ努力ヲ以テ圖ラレテ居ルノデアリマスカラ、之ニ付テハ内務省トシテモ、同一ナ御精神デアラウト存ジマス、就キマシテハ、産業組合ガ大部分町村ノ區域ニ依テ創立サレテ居ルノデアリマス、此産業組合ト町村自治團體トノ關係ニ付テ、町村自治團體ガ産業組合ヲ信用致シマシテ、其基本財産、其他餘裕ノ金ヲ産業組合ニ預金致シマスカラ、地方組合員ノ信用ヲ増ス上ニ於テ非常ナモノデアルト思ヒマス、併シマダ現在ニ於テハ町村ノ基本財産、其他ノ餘裕金ヲ産業組合ニ貯金シナイ村モアルヤウデアリマス、之ニ

付テハ特ニ内務省ハ各地方町村ニ訓令デモ發セラレテ、サウシテ地方産業組合ト地方自治團體トノ連絡ヲ密ニシ、尙ホ餘裕金ノ如キハ、成ベク之ニ投ズルヤウニト云フヤウナ訓令デモ發セラレルコトガ出來ルヤウヤト云フコトニ付テ一言御尋致シマス

○安井政府委員 只今御尋ニナリマシタ産業組合ノ振興ヲ圖リマスル爲ニハ、内務省ニ於キマシテモ、農林省ト同ジヤウニ考ヘテ居リマス次第デアリマス、各地方長官ニ於キマシテモ、其積リデ始終産業組合ノ普及發達ニ力ヲ注イデ居リマスルヤウナ次第デアリマス、唯此町村ノ基本財産、其他ノモノヲ産業組合ニ預金スルト云フコトニ付キマシテハ、是ハ一概ニ決メ難イ問題デゴザイマシテ、只今御述ニナリマシタヤウニ、ソレガ其町村ニ於テ洵ニ實情ニ適スルト云フ場合ニ於テハ、洵ニソレハ望マシイコトデアリマスカラ、又多數アリマスル中ニハ其地元地元ノ狀況ニ依リマシテ、必ズシモ一率ニ行カヌ場合モアルカト存ジマス、殊ニ町村ニ於キマシテハ、先程御述ニナリマシタヤウニ、町村内ニ於ケル産業組合ノ普及發達ハ望マシイコトデアアルノデアリマスルガ、同時ニ又町村財政ノ方面カラ考ヘマシテ、其基本財産、其他ノ財産ノ安全ナ

事ルヲ確保スルコトガ、同時ニ非常ニ必要ナコトデアリマシテ、其點ノ調和ヲ色ミ考ヘナケレバナラス、ソレハ各場合場合ニ應ジマシテ、又地方々々ノ狀況ニ應ジマシテ考ヘルベキ問題デハナイカト思ヒマス、隨テ只今ノ所全國一律ニ町村ノ基本財産ハ、全部之ヲ産業組合ニ預金スベシト云フヤウナ、強イ確定ナ訓令ヲ發スルト云フコトニハ只今考ヘテ居リマセヌヤウナ次第デアリマス、其事情ハ今申シマシタヤウナ譯デアリマスカラ、左様ニ御諒承ヲ願ヒマス

○大久保政府委員 先程戸田サンノ質問ニ付テハ農務局長カラ御答ニナリマシタガ、私ノ方ト致シマシテハ、此手數料ノ方ハ、勸業銀行ハ全部不動産ヲ目標ニシテ貸シマス、産業組合中央金庫ノ方ハ、必ズシモ不動産ト云フコトニ限ッテ居リマセヌ、御承知ノ通り不動産ハ鑑定、其他ニ付テ相當ノ費用ガ掛リマス、今迄勸業銀行ガ預金部ノ低利資金ヲ以テヤッテ居リマスル場合ニハ、中ミ六厘デモ困難デアルト云フ狀況デアリマシタ、今度ハ大分細カイ不動産ノモノヲ相手ニシマスカラ、其關係上費用モ相當ニ掛ルト云フヤウナ關係ヲ一ツ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス、今度ノ補償率ニ付テモ、産業組合ノ方ハ三割、勸業銀行等ノ

方ニ於テハ二割、之モヤハリ不動産ヲ擔保ニ取ルト云フ立前カラ産業組合ノ方ニ付テ少シ有利ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、働イテ行ク筋ニ依テ多少ノ區別ガ出來マシタノハ、其邊ノ事情デアリマスコトヲ一寸申上ゲテ置キタイト思ヒマス

○戸田委員 從來此種ノ金融ハ勸業銀行、中央金庫何時モ同様デアッタヤウデアリマスガ、只今御當局ヨリノ御説明ニ依リマスルト、勸銀ノ方ハ全部不動産ヲ擔保ニスルガ爲ニ手數ヲ多ク要スルト云フヤウナ御話ガアリマシタ、一應御尤デアリマスルガ、今回勸銀ノ不動産資金化ヲスルノハ多クハ銀行等ニ對スルモノデアリマシテ、其實質ニ於テ必ズ一口何萬圓ト云フヤウナ大體ニ於テ大キナモノデアラウト思フノデアリマス、隨テ共手數ハ中央金庫ノソレト比較スルナラバ、口數ニ於テモ極メテ少イ爲ニ、手數モ少イノデハナイカト想像サレルノデアリマス、中央金庫ノ方ニ於キマシテハ、組合ノ個々ノ信用資金、二百圓、三百圓若クハ五百圓、六百圓、千圓ト云フヤウナ細カイ資金ヲ取扱フ爲ニ、實際ノ口數ノ多イコトハ恐ラクハ中央金庫ノ一億圓ノ貸付ハ勸業銀行ノ五億圓ノ貸付ノ數倍ニ上ルデアラウト想像サレルノデアリマス、斯様ナ點

カラ想像致シマスナラバ、手數ハ寧ロ中央金庫ノ方ニ多ク掛リマス、又貸付ケタ後モ信用債權ヲ債權トスルガ故ニ、其督促手數ト云フモノハ頗ル夥シイモノガアラウト想像サレルノデアリマス、斯様ナ意味カラ致シテ、私ハ中央金庫ノ貸付利率ト、勸業銀行ノ貸付利率ヲ同率ニセラレンコトヲ希望スル次第デアリマス

次ニモウ一ツ御伺シタイノハ、中央金庫改正法律案ニ付テアリマス、從來事業年度ハ一箇年デアッタモノヲ、今回ハ六箇月ト云フヤウニ改正サレルノデアリマスガ、是ハ先刻農林當局ノ御説明ニ依リマスレバ、中央金庫ノ如キ大ナル組合ハ六箇月ノ方ガ宜イト云フヤウナ理由デ六箇月ニサレタト云フコトデアリマスルガ、能ク考ヘマ

スルニ、我國ノ産業組合ハ從來一箇年ヲ以テ大體事業年度トシテ參ッタノデアリマス、是ハ農村ニ於テ多ク發達シタガ爲ニ、一箇年ノ計算ヲ通ジテ平均ニ成績ヲ舉ゲルガ爲ニ斯様ニ一箇年トシタコト、思ヒマス、中央金庫ニ於テモ其通りデアリマス、寧ロ一箇年ヲ通ジテ年々ノ成績ヲ平均ナラシメタ方ガ、組合ニ對シテモ、或ハ統計ノ例ヲ作ル上ニ於テモ非常ニ宜イデハナイカ、又他ノ株式會社ノ如ク中央金庫ノ總會ニハ、委

任狀ヲ以テ足ルトハ申シマスケレドモ、成ベクハ全國ノ多數ノ會員ガ集ッテ産業方面ノ知識ヲ啓發スルト云フコトガ必要デアルガ故ニ、之ヲ一年一回トシテ、全國ヨリ成ベク多數ノ會員ヲ集メルト云フヤウナ便法モアリマスルガ故ニ、私ハ寧ロ是ハ從來ノ通り一箇年トシタ方ガ適當デアラウト考ヘテ居ルノデアリマス、又先刻御質問ガアリマシタ此中央金庫ノ裕餘金ノ運用ニ付キマシテ、今回主務大臣ノ認メタル國債若クハ地方債ヲ買入レルコトガ出來ルト云フヤウナ一項ヲ設ケラレマシテ、大分緩和サレタヤウデアリマスガ、更ニ之ヲ主務大臣ノ定メタル國債若クハ地方債ヲ擔保トシテ貸出スコトヲ得ト云フヤウナ一項ヲ設ケテ戴クコトガ運用ノ上ニ於テ極メテ必要ナコト、思ヒマスノデ、私ハ石川君ノ御説ニ賛成スル次第デアリマス

○小平政府委員 中央金庫ノ事業年度ヲ六箇月ニシタコトニ付テ色々御意見ガアルヤウデアリマスガ、先程申シマシタ通りニ、中央金庫ノ如キ大キナ金融機關ニナリマスルト、ドウシテモ年二回ノ決算ヲ出シテ見ル必要ガアルヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、又行政官廳ノ監督ノ場合ニ於キマシテモ、年ニ一回ノ決算ヲ見ルダケデハ足りナ

イノデアリマス、年ニ二回ドウシテモ決算

ヲ出シテ、ソレヲ審査スル必要ガアルヤウ

ニ考ヘマス、又農村ノ組合ハ、是ハモウ一

年ノ事業年度デ十分デアリマスガ、中央金

庫ニナリマス、事業分量ガ多イ點カラ考

ヘマス、普通ノ銀行ト殆下同ジデアリマ

シテ、或ハ小サナ銀行ヨリモヨリ以上ノ大

キナ事業ヲシテ居ルノデアリマスカラ、ド

ウシテモ年二回決算ヲ出シテ、自分ノ自己

反省ヲシ、又各總代ニ前半期ノ事業ノ結果

ヲ報告シテ、サウシテ後半期ノ事業ノ更正

ヲスルト云フ必要ガ十分アルヤウニ考ヘマ

スノデ、是ハ各農村ノ總代ガ上京スルコト

カラ考ヘマスレバ、或ハ御迷惑カト思ヒマ

スガ、中央金庫ノヤウナ大キナ金融機關ニ

對シマシテハ、ドウシテモヤハリ年二回決

算ヲスルコトニシテ置カナケレバイカヌト

考ヘテ居ルノデアリマス、其他ノ點ハ先程

申上ゲマシタヤウニ、餘裕金ノ運用ニ付キ

マシテハ、只今ノ所ハ有價證券ノ買入ヲ擴

張シタツケデ先ヅ十分デアルト考ヘタノ

デ、此案ヲ提案シタ次第デアリマス、左様

御諒承ヲ願ヒマス

○樋口委員長 一寸御諮リシマスガ、マダ

ルコトニ致シタイト思ヒマスガ……

〔賛成々々ト呼フ者アリ〕

○樋口委員長 ソレデハサウ云フコトニ致

シマス、ドウゾ一時ニハ是非御集リヲ願ヒ

マス

午後零時十分休憩

午後一時二十九分開議

○樋口委員長 休憩前ニ引續イテ開會致シ

マス——栗原君

○栗原委員 中央金庫ノコトニ付テ關聯事

項トシテ御伺シタイノデスガ、産業組合中

央金庫ノ從來ノ業績ヲ見マスルト、相當ニ

業績ハ擧ツテ居リマスケレドモ、世間カラ

言ハセマスルト、ドウモ首腦部ガ華族様ダ

トカ、學者ダトカ、或ハ銀行ノ業務ニ明ル

イ人デ、立派ナ人物デハアルケレドモ、地

方ノ産業ノ實際ニ通ジナイ人ガ少クナイ爲

ニ、中央金庫ガ其機能ヲ十分ニ發揮シナ

イ、斯ウ云フ憾ミガアルヤウデアリマス、

例ヘバ甲ノ事業ハ、地方産業ノ振興ノ上ニ

ハ左程大シテ必要ノナイコトデアッデモ、

ソレニハ思切ッテ多額ノ融通ヲスル、乙ノ

事業ハ先日本會議デ清家君ガ御述ニナッタ

ヤウニ、地方産業ノ發展上非常ニ重大ナル

極ク僅カノ融通シカシナイ、又藪ヤ其他季

節産業等ノ關係デ、迅速ニ融通ヲ仰ガナケ

レバナラナイト云フ時ニ、中ミオイソレト

急場ノ間ニ合ハナイト云フヤウナ小言ガ至

ル所ニアルヤウデアリマスガ、政府ハ此中

央金庫法ノ第九條ニ依リマス、理事ト

カ、監事トカ云フヤウナモノハ三人以上ト

云フコトデアッテ、別ニ法律デ定メナクト

モ、現在ノ首腦部ノ外ニ尙ホ適當ナ人物ヲ

入レルト云フコトヲシテモ、少シモ差支ナ

イヤウデアリマスガ、此際中央金庫ノ機能

ヲ十二分ニ發揮セシムル爲ニ、地方産業ノ

實情ニ最モ精通シタヤウナ人物ヲ御入レニ

ナツテ、中央金庫ノ機能ヲ十分ニ發揮セシ

ムルヤウニスルト云フ御意思ガアルカ、ナ

イカ、一寸承リタイノデス

○小平政府委員 御尋ノ中央金庫ノ業績ガ

満足ニ行カヌト云フ非難ハ從來モ度々聞イ

テ居リマス、此點ニ付キマシテハ今後中央

金庫ヲ督勵シマシテ、出來ルダケ御希望ニ

副フヤウニ致シタイト思フノデアリマス、

殊ニ今回ノ産業組合法關係法規ノ改正及特

別融通ノ機會ヲ動機トシマシテ、嚴重ニ督

勵シテ、地方ノ要求ニ應ズルヤウニ致シタ

御尋デアリマスガ、是ハ總代ノ總會ニ懸ケ

テ決定スベキ問題デアリマシテ、農林省ト

シテ特ニ役員ヲ増加スルカト云フコトニ付

テハ、今此處デ御答スル譯ニ參ラヌノデア

リマス、甚ダ遺憾デアリマスガ、理事増加

ニナリマスレバ、中央金庫自身デ報酬ヲ出

サネバナラヌコトニナルノデアリマシテ、

ソレニ付テハ總代ノ議決ヲ要スル、總代ノ

決議ニ依テ初テ成立シ得ル問題デアリマ

シテ、是ハ篤ト中央金庫ノ理事者ト協議シ

マシテ、善處シタイト思ッテ居リマスガ、

農林省デ出來ル範圍内ニ於テ今回此制度改

正ノ御協賛ヲ願ヒマシタ以上ハ、極力督勵

シテ、今迄ノヤウナ非難ノナイヤウニ十分

努力シタイト思ッテ居リマス、左様御承知

願ヒタイト思フノデアリマス

○栗原委員 將來大ニ督勵シテ機能ヲ發揮

スルヤウニ御努メニナルト云フコトハ、十

分ニ諒承シマスガ、本當ニ地方ノ産業ノ實

狀ニ精通シタ人ガ入ッテ居ラナイト、ドウ

モ如何ニ監督ヲ嚴重ニセラレ、或ハ適當ナ

指導ヲ與ヘラレテモ、本當ニ旨ク行カナイ

ノデヤナイカト思フノデアリマスガ、只今

私ノ御問申シマシタノハ、決議ニ依ルト

カ、何トカト云フヤウナ手續上ノ點ヲ御問

申シタノデハナクシテ、政府ニサウ云フヤ

ウナ御考ガアルカナイカト云フコトヲ御尋

シタノデアリマシテ、政府ノ大體ノ御考ガ
宜シイノデアリマスガ、適當ナ人物ヲ理事

中ニ新ニ加ヘテ、機能ヲ十分ニ發揮シテ日

本全國ノ産業組合ニ満足ヲ與フルト云フ御

考ガアルカナイカト云フ、此點ヲハッキリ

ト御答ヲ願ヒタイノデアリマス

○小平政府委員

御尋ノ點ハ新ニ理事ヲ増
加スル點ニアツタと思フノデアリマス、是

ハ今ノ所理事ヲ増加スルト云フコトハマダ
考ヘテ居リマセヌ、此改正法律案ノ施行及

融通ノ機能ヲ十分發揮シテ、産業組合系統

ニ十分満足ニ行クヤウニ事業ヲ刷新スル爲

ニハ、色ミナ改ムベキ點ガアルカト思フノ

デアリマス、役員増加ノ點ニ付テハ只今何

トモ申上ゲラレナイ點デアリマスカラ、左

様御諒承願ヒタイと思ヒマス、現在迄ニ於

キマシテハマダ農林省デハ理事ヲ増加スル

ト云フコトニ付テハ、何モ決定シテ居ナイ

ノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○栗原委員

農林省ニ於テハ現在ノ業績ニ
満足セラレテ居ルノデアリマスカ、或ハモッ

ト十分ニ機能ヲ發揮セシメタイト云フ御考

○小平政府委員

現在ノ點決シテ満足シ
テ居ルノデアリマセヌ、尙ホ中央金庫ヲ

シテ色ミヤラセネバナヌコトガアルノデ
アリマシテ、是ハ十分中央金庫ヲ督勵シテ
ヤラシタイ考デアリマス

○栗原委員

現在ノ程度デ御満足ニナラナ
イトスルナラバ、勢ヒ現在ノ理事者ヲ更迭

スルカ、新シク入レルカト云フコトニナラ

ナイノデアリマスカ、私ハ現在ノ理事者ハ

ヤハリ或ハ經驗ノ上カラ、或ハ其他ノ上カ

ラ、相當ノ人ミデ、此人ミニ非常ナ缺點ガ

アルトハ認メテ居ナイ、果シテ缺點ガナイ

ト致シマスルナラバ、現在ノ理事者ノ外ニ、

モット地方ノ産業行政ニ精通シタ所ノ人ヲ

新タニ入レテ機能ヲ十分ニ發揮セシムルヤ

ウニ考ヘナケレバナラナイ、ソレヨリ他ニ

途ガナイト考ヘマスカ、唯一片ノ監督指導、

ソレノミニ依テ——從來ニ於テモ監督ヲ怠

リ、或ハ指導ガ怠ラレテ居タ譯デハナイト

思ヒマスカ、然ルニ其業績ガ舉ラナカッタ

コトハ、一ニ地方ノ産業狀態ト云フモノニ

實際ニ精通シタ人ガナイ結果デアルト私共

ハ考ヘマス、果シテ然ラバドウシテモ適當

ナル人ヲ一人理事者ニ加ヘルト云フコトヨ

リ外途ガナイと思ヒマス、政府ハ他ニ途ガ

アルト御考ニナッテ居リマスカ

○小平政府委員

今回産業組合ノ指導獎勵
ニ關スル特別ノ豫算ヲ計上シテ御協賛ヲ

願ッテ居ル次第デアリマス、組合法ノ改正及

其豫算ノ運用ニ依テ、中央金庫ノ組織タル

個々ノ各産業組合ヲシテ十分機能ヲ發揮セ

シメ、又今度ノ法律改正ニ依テ、信用限度ヲ

増加スルコトニ致シマシテ、其組織員タル

各産業組合ノ刷新ト相俟ッテ、中央金庫ノ

當事者ヲ出來ルダケ督勵シテ、各組合ノ要

望ニ副フヤウニシタイと思フノデアリマシ

テ、中央金庫ノ機能刷新上、中央金庫自身

ニ於テ尙ホヤラサナケレバナヌコトガ多

多アルノデアリマスカ、又中央金庫ノ機能

ヲ十分發揮スルニハ、全國ノ組合ガ相當刷

新セラレ、信用限度ヲ擴張サセナケレバナ

ラヌノデアリマス、幸ヒ今回ノ法律改正ノ

御協賛ヲ願ヒマスレバソレニ依テ各信用組

合ノ信用ガ相當擴張サレマスカラ、ソレト

相俟ッテ十分督勵シテ目的ヲ達シタイと思

テ居ル次第デアリマシテ、今理事ヲ増加ス

ルト云フコトマデハ考ヘテ居ラナイノデア

リマス、左様御承知願ヒタイ

○栗原委員

今回提案ニナラレタ豫算、其
他ニ依テ地方ノ産業組合等ヲ指導開發スル

ト云フヤウナコト、或ハ地方ノ産業組合ノ

機能ヲ相當程度マデ發揮セシメルト云フ

コトハ可能グラウト思ヒマス、併ナガラ中

央金庫ノ本當ノ機能ヲ十分ニ發揮シ、迅速

ニ發揮シテ遺憾ナカラシムルニハ、全國産

業組合ノ中樞ヲ成シテ居ル中央金庫ノ主腦

部ノ中ニ、地方ノ人ミノ希望スルコト、ソ

レ等ヲ直ニ理解シ得ル地方ノ實情、今日ノ

産業狀態ニ精通シタ人ヲ入レナケレバ、十

分ニ機能ヲ發揮スルコトハ出來ナイと思ヒ

マス、併ナガラ是レ以上追窮致シマスコト

ハ如何ト思ヒマスカ、私ハ是ハドウシテモ

中央金庫ニ地方産業ノ實情ニ明ルイ所ノ人

ヲ入レル必要ガアルト云フ確信ト、觀念ヲ

有ッテ居ル、確タル觀念ヲ有ッテ居ルト云フ

コトヲ茲ニ申シテ、此點ノ質問ハ此程度ニ

止メマス

ソレカラ是モ關聯事項デアリマスカ、今

回政府ガ非常對策トシテ色ミナ方法ニ依

テ地方ノ金融ヲ圖リ、或ハ産業組合ノ資金

ヲ成ベク潤澤ニスルヤウニト云フヤウナ御

計畫ガアルノニ對シマシテ、地方廳ガ指導

者トナッテ開墾デアルトカ、或ハ河川改良事

業トカ云フヤウナモノヲ強イテ行ハセヤウ

トスル風ガアリマス、即チ地方民ガ從來ノ

經驗ニ照シ、耕地整理ハ餘リ利益ガナイ、却

テ損ガアツタ、用排水工事河川工事モ必要ガ

ナイ、却テ損ガアツテ、何等ノ利益ガナカッタ

ト云フ從來ノ經驗ニ照シマシテ、嫌ガッテ居

ル者ニ、事業ヲ施行サヘスレバ、多少ノ利

益が得ラレト云ツテ、地方ノ土木業者、請負人デアルトカ、或ハ有力者ト云フ様ナモノト、縣ノ耕地課ノ役人トカ何トカ云フ者トガ結託致シマシテ、利害關係者ガ嫌ダ嫌ダト言ッテ居ルニモ拘ラズ、國庫ノ低利資金ノ融通ヲ受ケテ、何カ事業ヲ起サナケレバ非國民デデモアルカノ如キコトヲ宣傳シマシテ是非何ミノ事業ヲヤレト云フヤウナコトヲ非常ニ強イテ居ルヤウナコトガアリマスルガ、是ハ地方民カラ言ツタラ、迷惑至極ノ話デアアルノミナラズ、又國家ノ財政ノ上カラ申シマシテモ、サウ云フ嫌ガル所ヘ強イテ事業ヲ起シテ、人ヲ嫌ガラセルヨリモ、本當ニ必要缺クベカラザル事業、是非地方ノ事業トシテヤリタイト云フモノガ澤山アルノデアリマスカラ、サウ云フ嫌ガル所ニ強イテ事業ヲ起スト云フコトハ止メサセテ、本當ニ必要デ、是非御願シタイト云フ地方ニ融通スルト云フコトニ爲サル考ハナイノデアリマスカ、ドウデアリマスカ、若シ其實實ヲ指摘セヨト云フコトナラバ、幾ラデモ指摘致シマス、地方ノ農務課長、其他ノ氏名モ申上ゲマスガ、今私ハ其必要ハナイト思ヒマス、若シ其事實ヲ指摘セヨト云フ御言葉デアレバ直チニ指摘致シマス、唯今ノ點ニ付テ政府ノ御考ノアル所ヲ承リタイ

○小平政府委員 御意見ノ點ハ洵ニ御尤デアリマシテ、地方ノ農民ガ嫌ダト云フモノニヤラセル意思ハ毛頭ナイノデアリマス、地方ノ要望ガアッテ、而モソレガ合理的ニ經營セラレテ、將來無理ナ負擔ニナラヌモノヲヤラセルト云フコトニ考ヘテ居ル次第デアリマス、殊ニ今回ハ仕事ヲ急グ關係上、大體ニ於テ地方長官ニ御委セシテ居ルノデアリマス、耕地整理事業ト用排水、河川改良事業ダケハ法律ノ關係上農林大臣ノ指令ヲ出サナケレバナラヌコトニナッテ居リマシマス、其他ノ地方農業土木事業ハ是ハ農林省ダケノコトヲ申上ゲマスガ、大體地方廳ニ御委セシテ居ルノデアリマシテ、ソレニ付キマシテハ十分無理ノナイヤウニ、本當ニ之ヲ施行シテ農民ノ爲ニナルト云フコトヲヤラセルヤウニ十分注意ヲ致シテ居リマシマス、尙ホ念ニハ念ヲ重ネテ御注意ノ趣キハ十分地方長官ニモ通牒致シマシテ、サウ云フコトノナイヤウニ致シタイト思ッテ居リマス、現在ニ於キマシテハ中ニ要望ガ非常ニ多ウゴサイマシテ、ソレニ應ジ切レナイヤウナ事情ニナッテ居ルノデアリマス、開墾助成事業ハ現在マデノ所デハ昭和五年ノ十月迄ノ補助指令ヲ出シテ居ル譯デアリマシテ、ソレ以後ノ申請ニ付テハマダ何等指令

ガ出シ得ナイ事ニナッテ居リマス、現在約一萬二千町歩ノ開墾助成ノ申請ガ溜ッテ居ル様ナ次第デアリマシテ、是等ニ付キマシテハ、出來ルダケ實際ノ事情ニ即スル様ニ調査シテ、十分サウ云フ御心配ノナイ様ニ致シタイト思ッテ居リマス、尙ホ今回ハ特ニサウ云フコトヲ調査スル爲ニ農業關係ノ土木事業ニ付キマシテハ、各地方廳ニ調査ノ職員ヲ特別ニ出シテ補助シテ、本當ニ困ッテ居ル所ノ此事業ガ行ハレルヤウニシタイト云フノデ、極力督勵シテ居ル次第ゴザイマスカラ、左様御諒承願ヒタイト思ヒマシマス

○栗原委員 只今ノ御話ハ大體了承致シマシタガ、且又地方ニサウ云フコトノアリ得ルト云フコトヲ政府モ豫メ御考ニナッテ、相當官吏ヲ派シテソレ等ニ對スル所ノ監督ト云フヤウナコトモオヤリニナッテ居ルト云フヤウナコトデアレバ、私以上ニ追窮致シマセスガ、非常ニ今各地ニ於テ迷惑致シテ、豫算ガ出來テ居ナイ中カラ豫メ之ヲヤラウト云フヤウナコトヲ縣ノ耕地課アタリノ人ガ考ヘテ居ッテ、之ヲヤッタ大キナ仕事ダト云フヤウナコトヲ考ヘテ居ッテ、併ナガラ地方ノ人ノ反對ガ多カッタ爲ニソレヲヤルコトガ出來ナカッタト云フ、ソレヲ今回此機會ヲ利用シテ理ガ非デモヤラセヨウト云フヤウナコトデ、大變騒イデ居ル所ガ地方ニ澤山アル、嫌ダト云フノヲ、中ニハ壯士ヲ使ッテマデモ地方ノ地主ナドヲ脅迫シテ居ル事實モアルノデアリマス、サウ云フ風デアリマスカラ、此點ハ十分ニ御監督下サルヤウニ御願ヲ申上ゲテ置キマス

ソレカラ此各條項ニ對スル質問ハ同僚野中君ガオヤリニナルコトニナッテ居リマシマス、同君ニ御譲リ致シマスガ、今回ノ此特別融通ヲシヨウトスルノハ、大臣ノ提案理由ノ説明竝ニ此條文ヲ以テ見マシテモ、約一億萬圓ヲ融通スルノニ三千萬圓ヲ限ッテ損失補償ヲスルト云フノデアリマスガ、今固定のナ資本トナッテ居リマスル各地ノ産業組合、信用組合等ガ貸シテ居ル所ノ金モ政府ハ五億或ハ六億ト御勘定ニナッテ居ルヤウデアリマスガ、實際ハモウ少シ數ガ多ク、サウシテ隨分酷イ状態ニナッテ、全ク其機能ヲ發揮スルコトノ出來ナイモノモ相當アルヤウニ私共考ヘテ居リマスルガ、之ヲモウ少シ奮發シテ、二億圓モ融通スル、隨テ此倍位ノ限度ノ補償ヲスルト云フ奮發ヲスルコトガ實際ノ實狀ニ徴シテ必要デハナイカト考ヘマスガ、政府ニハサウ云フ御考ハ始リカラナク、唯三千萬圓位ト云フ御考デアッタカ、或ハ大藏省其他ト折衝ノ都

合等ニ依ッテ、三千萬圓程度ニサレタノデア
リマスガ、一寸御伺シタイ

○小平政府委員 今回ノ特別融通ニ付キマ
シテハ、大體ニ於テ固定貸ト云フモノガ約

三億圓ニ達シテ居ル狀態ニ相成テ居ル譯
デアリマス、其固定貸ト云フノハ一年以上
支拂ガ延ビテ居ルノヲ全部入レマシテ、約

三億圓ニ達スル次第デアリマシテ、其三億
圓ノ中ニハ、或ハ補償ガナクテモ、普通ノ

方法デ多少ハ中央銀行アトリ延バセバソ
レデ整理出來ルノモアリマスノデ、本當ニ

國家ノ補償デヤラナケレバナラヌモノハ約
一億圓位デアラウ、斯ウ云フ具合ニ考ヘマ

シテ、一億圓ノ標準デ補償ヲ三千萬圓付ケ
レバ宜イト云フコトニ考ヘタノデアリマス

ガ、是ハ當業者ノ方ノ決議ノ補償ハ約三千
萬圓ニ相成ッテ居ルノデアリマス、當業者ノ

方ハ三億圓ノ固定貸ノ中デ一億三千萬圓ヲ
貸出シテ貰ヒタイト云フ希望デアリマシタ

ノデアリマスガ、農林省ニ於テ篤ト色ミナ
内容ヲ調べテ見マスト云フト、本當ニ困ッ

ノ補償ニシテ一億圓デ先ヅ目的ハ達セラレ
ル、斯ウ考ヘマシテ、本案ヲ提出シタ次第

デアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○栗原委員 私マダ二三點アリマスケレド

モ、大藏省ノ役人等モ來テ居リマセヌカ
ラ、是デ私ノ質問ヲ保留シテ後ヘ譲リマ

ス

○樋口委員長 一寸御諮リシマスガ、杵谷

君ガ委員ヲ辭サレテ、同君ハ理事デアリマ
シタガ、其後ニ柳田宗一郎君ガ委員ニナラ

レマシタノデ、理事ヲ柳田君ニ御頼ミ致シ
タイト思ヒマスガ、御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○樋口委員長 ソレデハ柳田サンドウゾ理

事ニ……野中君

○野中委員 機構組織ニ關スル大體ノ質問
ハ濟ミマシタガ、マダ不十分デアルト感ジ

マスルカラ、其組織ノ問題、即チ根本的ナ
問題ニ付キマシテ、少々バカリ御伺シタイ

ト考ヘマス、此產業組合ノ例外規定ト致シ
マシテ、市街地信用組合ト消費組合ガアリ

○小平政府委員 市街地ノ信用組合ノ中デ
不良ノモノガアルカドウカト云フ御尋デゴ

ザイマスガ、是ハ不良ト云フ點ガドウ云フ
點ヲ不良ト申シマスガ、其標準ガハッキリ

致シマセヌガ、此財界ノ不況ニ際シマシテ
是ハ各組合トモ相當困難シテ居ルノデアリ

マス、今回特別融通ヲシテ固定貸ヲ流動化
シヨウト云フノモ、ソレカラ來テ居ルノデ

アリマス、之ヲ不良ト申スコトハ出來ナイ
ヤウナ狀況デアリマス、ドウ云フ組合ヲ不

良ト申シマスガ、最近財界ノ不況ニ依テ資
金ノ固定ヲ來シ、是ガ流動化ニ努メテ居ル

組合ガ相當アルノデアリマス、是ガドノ位
マデ不良デアアルカト云フコトハ、勿論申上

ゲ得ナイコトデアアラウト思ヒマス

○野中委員 今政府委員ノ答辯ニ依リマス
レバ、二百アル市街地信用組合ニ於テ不良

ト云フ文字ヲ使ッテ宜イカ悪イカハ知リマ
セヌケレドモ、固定貸ノ可ナリ多イ信用組

ノミナラズ、全國ノ信用組合ガ同ジ不況ニ
遭遇シテ、而モ其困苦ヲ切抜ケ、或ハ倒レテ

居ルノデアリマス、此原因カラ言ヒマスレ
バ、兩方同一ノ狀態ニアルト見ナケレバナ

ラス、而シテ其所謂固定貸ノ多イ市街地信
用組合ノ數ハドレ位ゴザイマスガ、其數モ

聽キタイト思ヒマスガ、是ダケヲ特ニ例外
規定ニスルト云フコトハ、私共ニ言ハスレ

バ洵ニ當ヲ得ナイト考ヘルノデアリマス、
又一方ニ於テハ町村信用組合ニ於キマシテ

モ此財界不況ヲ切抜ケテ優良ナル成績ヲ舉
ゲテ居ル組合モ多々アルノデアリマス、

私ハ昨日唯單ニ埼玉縣ノ一例ヲ舉ゲタマ
ケデアリマスガ、埼玉縣ニ於テ十數ゴザイ

マスシ、又其他ノ府縣ニ於テモ同様デアリ
マス、シテ見レバ同ジ信用組合ト云フ性質

カラ立脚シマシテ、市街地信用組合ダケヲ
抜イタト云フコト、是ハ昨日ノ政府委員ノ

説明ダケデハ甚ダ不十分ト考ヘマス、昨日
ノ政府委員ノ説明ニ依リマスレバ、市街地

ノ信用組合ハ丁度銀行類似デ組合員ニ異動

ガアル、又一面ニ於テハ通常ノ銀行業務ヲ

營ムモノデアアルカラ、其信用ノ程度ヲ擴大

スル必要ガアル、資金ガ大キクナケレバナ

ラス、斯ウ云フ二ツノ理由ヲ以チマシテ市

リマス、併ナガラ市街地信用組合ノ例外規定ヲ設クルナラバ、同ジヤウナ性質ガ町村組合ニモ言ハレルノデハナカラウカ、殊ニ現在不良信用組合ト云フノガアル事實カラ見マシテ、私共ハ此點ダケヲ特ニ除イタコトニ對シテハ洵ニ政府ト致シマシテ首尾一貫セヌモノデハナカラウカト考ヘル、隨テ此點ハ或ハ是カラ更ニ論及スレバ政府トノ意見ノ相違ニナリマセウガ、私ノ聽イタ所デハ此市街地信用組合ダケ除外例ニナッタニ付テハ、或ル方面ノ運動ニ依テナッタノデアル、産業組合中央會ニ於ケル意見ノ懸隔カラスウ云フコトニナッタノデアルト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、果シテサウ云フ事實ガアリマスカドウカ

○小平政府委員 財界不況ノ爲ニ資金方固定シタモノヲ所謂不良ト云フヤウニ御解釋ニナッタヤウデアリマスガ、左様ナ意味ニ申シタ譯デハアリマセヌ、財界不況ノ爲ニ資金方固定シテ居ルノハ、全國ノ組合ヲ通ジテ約三億ニ達シテ居リマス、是ハ組合ガ不良ノ爲ニ固定シタノデハアリマセヌ、財界不況ノ結果、不可抗力的ニコンナコトニナッタ、ソコデ政府トシテハ三千萬圓ノ補償ヲシテ一億圓ノ特別融通ヲショウト云フノデアリマス、隨テ固定ヲ以テ不良ト申スコ

トハ出來ナカラウト思フノデアリマス、又市街地ノ信用組合ノミヲ別ニ有限責任ニナリ得ルコトニ致シタコトハ、首尾一貫セヌト云フ御意見デアリマシタ、是ハ市街地ノ信用組合ハ前日ニモ申上ゲマシタ通り、組合員ノ異動モ相當アリマス、ソレカラ農村ノヤウニ隣保共助デ出來テ居ルト云フ點ヨリハ、寧ローツノ金融機關トシテ出來テ居ルト云フ立場カラ見ルベキモノデハナイカト思フノデアリマス、隨テ其點ヲ捉ヘマシテ特別例外ヲ開イタノデアリマシテ、別ニ運動ガアツテ止メタト云フノデハアリマセヌ、例ヘバ獨逸ノ例ヲ見マシテモ、市街地ノ信用組合ハ「シュルツエ」式デ、有限責任

デ出來テ居ル、所ガ獨逸ノ農村ノ組合ハ「ライフアイゼン」組織デ、總テ無限責任デアリマス、是ハ世界ノ産業組合ノ大勢ハ、市街地ハ大體ニ於テ「シュルツエ」式ヲヤッテ居ルガ、農村ノ組合ハ「ライフアイゼン」式ヲヤッテ居ルノデアリマス、隨テ日本ニ於テ市街地ノ信用組合ガ「シュルツエ」式ヲ有限責任デアリ、農村ノ組合ガ「ライフアイゼン」式デ無限責任ニハナラヌケレドモ、少クトモ保證責任ニナルト云フコトハ、當然ノ歸趨デアリマス、産業組合ノ原則カラ申シマシテ是ガ適當デアルヤウニ考ヘテ居ル

ノデアリマス、別ニ運動ガアツタ爲ニ變ヘタノデハアリマセヌ

○野中委員 只今政府委員カラ或ハ獨逸ノ都市ニ於テハ有限責任デアリ、町村ニ於テハ無限責任デアルト云フヤウナ御説明ガアリマシタガ、私共ハ日本ノ産業組合ヲ議シテ居ルノデアリマシテ、又吾々ハ日本ノ國民性ニ立脚シテ獨自ノ産業組合ヲ造ルコトガ、最モ日本國民トシテ適當ナルモノデハナイカト云フノデアリマスカラ、今ノ例證ハ此場合ニ於ケル辯解ノ理由ト認メルコトハ出來マセヌ、隨テ前ニ申シマシタ通り有限責任ノ市街地信用組合ノ中ニ付キマシテモ、所謂固定資ノ多イ不良信用組合ガアル、又町村ニ於キマシテモ同様ナ情勢デアルト云フナラバ、是ハ同ジ趣旨ニ立脚シテ、同ジ性質ノ、何ト申シマスカ、國民ヲ指導スル意識ニ基キマシテ、同一ナル制度ニ致スコトガ適當デアラウト思ヒマスガ、此點ハ意見ノ問題デアリマスカラ、是デ質問ヲ止メマス、又一步今ノ場合ヲ譲リマシテ、政府ハ此原案ニ依リマスレバ、三箇年間ニ於キマシテ町村ノ有限責任組合ヲ保證責任ニナッテ居リマスガ、此三箇年ト云フコトヲ延長スル意思ガゴザイマスルカドウカ、或

ハ延長スル御意思ガナク、更ニ進ンデ此規定ヲ削除スル御意思ガゴザイマスルカドウカ此點ヲ御伺致シタイ

○小平政府委員 農村ノ組合ヲ保證責任ニスルト云フ點ハ既ニ度々重ネテ申シマシタ通り、日本ノ産業組合ノ機能ヲ發揮サセ、資金ノ供給、其他ノ點ニ於テ普遍的ニ各農村ニ總テ産業組合ヲ通ジテ色々ナ資金、肥料ノ配給等ヲ最モ普遍的ニ致サウト云フ考デアリマシテ、又日本ノ産業組合ヲシテ特ニ此際組合員全員一致ヲ以テ産業組合ノ發展刷新ヲ圖ルト云フ、組合員ガ全責任ヲ以テヤルト云フコトヲ國ノ制度トシテ、特ニ此點ヲ此際強調シタイト云フノデアリマシテ、此組織ヲ變更スルト云フコトハ今同ノ改正ノ非常ナ重要ナ點デアリマスカラ、何卒其點ハ十分御諒承ヲ願ッテ御賛成ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、又隨テ三年間ヲ變更スルト云フコトハ——三年間ノ餘裕ヲ見テ其間ニ全力ヲ擧ゲテ指導シ、此精神ノ徹底ニ努メルナラバ、十分此間ニ變更出來ルト思ヒマスカラ、此三年間ハ延バスト云フ意思ハ有ッテ居ナイノデアリマス

○野中委員 今政府委員ノ答辯ニ依レバ三年間ヲ延長シナイヤウナ御意思デアリマシガ、私共ガ色々ナル實際ノ狀況カラ見マシ

テ、果シテ三年間ニ是ガ全部保證責任組合ニナルカト云フ事ニ付テハ疑問ヲ有ツテ居リマス、何故カト云ヘバ、御承知ノ如ク大藏省ガ小銀行ノ合併、或ハ増資ト云フヤウナ方針ヲ立テマシテ、ハッキリ記憶致シマセヌガ、約五年間バカリ此方面ニ努力致シテ居ルヤウデアリマスガ、併ナガラ前ノ大藏省ヨリノ答辯ニ依リマス、尙ホ現在ニ於テ二十六行殘ツテ居ルシ、又合併スルカ否カト云フヤウナ協議中ノモノガ澤山アルヤウデアリマスガ、果シテ然ラバ六百幾ツシカ

ル所ノ町村信用組合ハ其儘ニ致シテ置キマシテ、將來ニ生ズベキ所ノ信用組合ヲ保證責任組合ニスルト云フ御意思ハゴザイマセヌカ御伺致シマス

○小平政府委員 銀行ノ方ノ關係ハ先程銀行局長カラ御説明ガアリマシタガ、是ハ資本金ヲ現實ニ増加スルト云フコトデアリマス、或ハ二百萬圓乃至百萬圓、五十萬圓ト云フ標準デ具體的ニ資本ノ増加ニナリマス

變更シテ、將來ノモノハ無論其組織ニサセヨウト云フノデアリマス

更ニ御伺致シマス、中央金庫法ノ中ニ於テ營業收益稅ヲ課サナイヤウニスルト云フ御意見ノヤウデアリマスガ、是ハ勿論産業組合ヲ發達セシメヨウト云フ希望ノ下ニ作ラレタルモノデアリマセウガ、果シテ政府ハ産業組合ヲ振興セシムル所ノ意思ヲ有ツテ居ルノデアリマスカ、如何デアリマス

アリ所ノ銀行ヲ合併、増資スルトカ云フ問題ニ付テモ二年乃至六年ノ長時日ヲ費シタニ拘ラズ、今日ハッキリシタ數字ヲ大藏省政府委員カラ聽カナケレバ分リマセヌガ、マダ出來ナイ情勢デアリマス、況ヤ一萬二千ニ垂ントシテ居ル所ノ此有限責任組合、其中ニ信用組合ハ數ハ少イデアリマセウ、玆ニ分類シタモノガアリマセヌカラ分リマセヌガ、ソレガ三年間ニ保證責任組合ニ悉クナルト云フ事ハ、又其組合ノ關係上、今マデノ情實上或ハ更ニ其附近ノ狀態カラ見テ可能ノコトデアルトハ考ヘ得ラレナイノデアリマスガ、政府ガサウ云フヤウナ見込ガアリト云フナラバ是ハ別問題デア、併シ又更ニ政府ニ御伺致シマスガ、現在ニ於ケ

業組合ノ方ハ資本ヲ増加スルノデハナイノデアリマシテ、現在ノ拂込一口三十圓ナラバ是ト同額位ノ保證ヲ付ケルト云フノデアリマスカラ、是ハサシタル困難ハナイヤウニ考ヘテ居リマス、三年間ニ全部組織ガ變更出來ルモノト云フコトニ確信シテ居ル次第デアリマス、隨テ將來ニ於ケルモノノミヲ保證責任ニスルト云フコトデハ、日本ノ産業組合全體ノ機能ヲ發揮シ、標準ヲ一段高メル上ニ於キマシテハ、甚ダ徹底シナイノデアリマシテ、農林省トシマシテハ國家ノ法律制度トシテ全部ヲ一時ニ保證責任組合ニシタイ、將來出來ル僅カナモノダケヲ保證責任ニスルト云フノデハ、日本ノ産業組合全體ノ機能ヲ十分發揮スルコトハ出來ナイデアラウト云フノデ、現在アルモノヲ

○野中委員 只今ノ御説明ニ依リマス、銀行ハ増資デアアルガ故ニ、數箇年ヲ要シテ此成績ガ舉ラヌノデアアルガ、信用組合ハ増資デハナイ、即チ現在ノ施設、現在ノ資本ヲ維持シテノコトデアルカラ、三年間ニ保證責任組合ニ組織ヲ變更スルコトガ容易デアルト云フ御説明デアリマシタガ、私ハ農村ノ現狀ニ立脚シテ考ヘルニ、今日ニ於テハ農村ハ頗ル疲弊ノ情勢デアリマシテ、今マデ信用組合員デアリマシタ人モ、果シテ將來ニ於テ其信用組合員タル資格ヲ有スル所ノ一口カ二口ノ金ノ都合ヲスルコトガ出來ルカドウカト云フコトニ付テ、私ハ甚ダ疑問ヲ有ツテ居ルノデアリマス、而シテ今度保證責任組合ニナリマスレバ、出資額ノ僅ニ倍ノ保證ニシカ過ギヌト思フノデアリマスガ、倍ノ出資、即チ一口ノ組合員ガ二口ノ出資ヲシタト云フノト同様ノ責任ヲ持つト云フコトハ、果シテ今日ノ窮迫セル農村ニ於テ可能ナリヤ否ヤト云フコトハ甚ダ疑ハザルヲ得ナイノデアリマス、併シ此點ハ前ニ申シタ通り政府ト見解ヲ異ニスルコトデアリマセウカラ、追窮スルコトハ止メマス

○小平政府委員 今ノ最後ノ營業收益稅ノ點ハドウ云フ御質問デゴザイマス、一寸諒解シ兼ネタノデアリマスガ……

○野中委員 營業收益稅ヲ無稅トスルト云フコトヲ書イデアリマスガ……

○野中委員 營業收益稅ヲ無稅トスルト云フコトヲ書イデアリマスガ……

○野中委員 營業收益稅ヲ無稅トスルト云フコトヲ書イデアリマスガ……

○野中委員 營業收益稅ヲ無稅トスルト云フコトヲ書イデアリマスガ……

○野中委員 政府ハ即チ産業組合ヲ獎勵セシムル目的ヲ以テ進シテ居ルト云フ御趣旨ハ分リマシタ、併シ此問題ニ付キマシテモ昨日申シマシタ通り、果シテ無限責任組合ヲ保證責任組合ニスルコトガ、産業組合ヲ助長セシムルモノデア、アルカドウカト云フコトニ付キマシテ、本員ハ甚ダ疑ヲ持ツテ居

○野中委員 政府ハ即チ産業組合ヲ獎勵セシムル目的ヲ以テ進シテ居ルト云フ御趣旨ハ分リマシタ、併シ此問題ニ付キマシテモ昨日申シマシタ通り、果シテ無限責任組合ヲ保證責任組合ニスルコトガ、産業組合ヲ助長セシムルモノデア、アルカドウカト云フコトニ付キマシテ、本員ハ甚ダ疑ヲ持ツテ居

○野中委員 政府ハ即チ産業組合ヲ獎勵セシムル目的ヲ以テ進シテ居ルト云フ御趣旨ハ分リマシタ、併シ此問題ニ付キマシテモ昨日申シマシタ通り、果シテ無限責任組合ヲ保證責任組合ニスルコトガ、産業組合ヲ助長セシムルモノデア、アルカドウカト云フコトニ付キマシテ、本員ハ甚ダ疑ヲ持ツテ居

○野中委員 政府ハ即チ産業組合ヲ獎勵セシムル目的ヲ以テ進シテ居ルト云フ御趣旨ハ分リマシタ、併シ此問題ニ付キマシテモ昨日申シマシタ通り、果シテ無限責任組合ヲ保證責任組合ニスルコトガ、産業組合ヲ助長セシムルモノデア、アルカドウカト云フコトニ付キマシテ、本員ハ甚ダ疑ヲ持ツテ居

ルノデアリマス、併シソレハ昨日申シマシタカラ此處で繰返シマセス、併シ政府ノ中ニ於キマスル此農林當局ガ産業組合ヲ維持シ、獎勵發達セシムル所ノ意思ヲ以テ進シデ居ルト云フコトハ明瞭デアリマスガ、然ラバ此産業組合ト利益ヲ異ニシテ居ル所ノ、所謂市町村ニ於ケル所ノ商人ニ對スル所ノ取扱ヲ如何ニ爲サレントスルノデアアルカ、或ハ此利害關係ヲ調和スル所ノ方策ヲ御有チニナッテ居リマスルカ、ドウカ、更ニ此調和スル方策ニ付キマシテ、商工省トノ間ニ何等カノ協定ガ出來マシタノデスカドウカ、所謂根本問題デアリマスカラ、御質問申シマス

○小平政府委員 市町村ニ於ケル商人トノ關係ノ御質問デアリマスガ、商工省ニ於キマシテハ、今回中小商工業者ノ刷新、振興ヲ圖ル爲ニ、商業組合法ト云フモノヲ認メマシテ、商業組合ニ於キマシテハ、商品ノ販賣ヲスル者ガ各種ノ共同施設ヲシテ、便利ヲ受クルヤウニナッテ居ルノデアリマス、其商業組合ト、産業組合トノ關係ニ付キマシテハ、先程商務局長カラ申上ゲマシタ通りニ、農林省ト商工省ト十分協定シマシテ、兩方ノ機能ヲ十分發揮シテ、兩方ノ團體ガ何等矛盾ナク、兩方ガ協同シテ發達出

來ルヤウニ考ヘテ、兩者ノ協議ハ十分遂ゲテ居ル次第デアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○野中委員 其積リト云フコトハ能ク分リマシタ、併ナガラ執ルベキ方策ヲ御考ニナッテ居リマスガ、其方策ニ付テ御伺ヲ致シマス

○小平政府委員 中小商業者ノ方ノ振興策ニ付キマシテハ、私カラ申上ゲルコトハ出來ナイト思フノデス、唯サウ云フ商工業者ノ方ノ共同施設ト、産業組合關係ノ共同施設トノ調和ニ付テハ、十分考ヘテ、商業組合法ノ第一條ニ勅令ヲ以テ特ニ其規定ヲ入レルヤウニナッテ居ルノデアリマス、商工業者ニ對スル施設ニ付キマシテハ、私カラ申上ゲルコトハ出來ナイト思フノデアリマス、勿論産業組合ハ農業者ノミナラズ、總テノ者ガ加入出來ルノデアリマシテ、産業組合トシテハ、一ツノ區域内、殊ニ町村ニ於キマシテハ、總テノ者ガ加入シテ資金ヲ借入レルナリ、便宜ヲ得ルコトニナッテ居リマスガ、産業組合側トシテハ、總テノ業者ヲ考ヘテ居ルノデアリマス、商業ノミノ施設ニ付テハ、商工當局カラ御答辯ガアルコト、思ヒマス

○野中委員 今農林當局トシテノ御説明ヲ承リマシタ、實ハ吾々ハ産業組合對商業組合、或ハ産業組合ノ中ノ各生産組合對消費組合、或ハ産業組合對商人ト云フヤウナコトニ關シマシテハ、所謂國策上カラ考ヘマシテ、殊ニ如何ニ之ヲ處置スベキカ、如何ナル立場ヲ執ッテ之ヲ指導スベキカト云フコトハ、考慮シナケレバナライ重大ナ事項デアラウト考ヘマス、勿論是ハ一農林當局ノ考デハ迎モ出來スコトデアリマセウ、是ハ農林當局ノ政府委員ニ質問ヲ致スノガ或ハ無理カモ知レマセスガ、此點ニ付キマシテハ、或ハ農林大臣、或ハ總理大臣ノ答辯ヲ求メタイト思フノデアリマスカラ、此根本論ニ對スル大體ノ質問ハ打切りマス、政府ノ意向ノ在ル所ハ能ク分リマシタカラ、吾々ハ吾々ト致シマシテ、獨自ノ見解ニ立チマシテ、進ンデ行ク積リデアリマス

今度ハ各法律ニ入リマシテ、一寸不審ナ點ヲ御質問申上ゲヤウト考ヘマス、初メノ中央金庫特別融通ノ問題ニ付キマシテ、第一條ニ「金融ノ疏通ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ主務大臣ノ定ムル所ニ依リ特別融通ヲ爲スコトヲ得」ト云フコトガアリマス、私ハ此「爲スコトヲ得」ト云フコトガ甚ダ分ライノデアリマスルガ、實際現在ニ於キマシテ、資金ノ融通ヲ仰ギタイ所ノ者ハ、優良ナル所ノ信用組合、或ハ優良ナル所ノ購買販賣組合ニ非ズシテ、寧ロ前ニ申シマシタ通り、不良ト認ムベキ産業組合ガ資金ノ融通ヲ最モ希望スルノデハナカラウカト思ヒマス、若シ此條文ヲ此儘ニ解釋致シマスルト、「爲スコトヲ得」トアリマスカラ、或ハ中央金庫ニ於キマシテハ、自分ノ見解ニ基キマシテ、貸出シマスル所ノ資金ガ取レナイ點モアリマスル場合ニ於キマシテハ、之ニ對スル貸出ヲ躊躇スルコトハナカラウカ、若シアリトスレバ、即チ現在最モ必要デアル所ノ産業組合ニ貸出ヲスルコトガ出來ナイノデアリマスカラ、此條文デ既ニ必要アリト認ムルトキハト云フ前提條件ガアリマスカラ、「融通ヲ爲スコトヲ得」ト云フ「得」ノ字ハ此場合消シテシマヒマシテ「融通ヲ爲スコト」ト云フヤウニスルコトガ、最モ此法案ノ趣旨カラ見マシテ、又實際上カラ見テ適當ナモノデナカラウカト思ヒマスガ、「爲スコトヲ得」ト致シマシタコトニ對シテ、政府ハ如何ナル意志ヲ有ッテ爲サレマシタカ、質問致シタイト思ヒマス

○小平政府委員 第一條ニ於テ「融通ヲ爲スコトヲ得」ト規定シタノハ、是ハ手續ノ規定デアリマス、中央金庫ガ貸付テモ宜

イ、貸サヌデモ宜イト云フ規定デアリマセ
ス、是ハ中央金庫ノ現在ノ法律デハ特別融
通ガ出来ナイノデアリマス、特別融通ト云
フ特殊ノ貸付ハ現在ノ産業組合中央金庫法
デハ出来ナイノデアリマスカラ、産業組合
中央金庫法ノ法律上ノ機能ヲ茲デ特別ニ規
定シタマケデアリマスカラ、從テ書方ハ
産業組合ノ機能ガ是デ擴張サレタト云フ意
味ヲ表ハシタノデアリマス、ソコデ此補償
法ニ基キマシテ政府ト産業組合中央金庫ト
契約ヲ致シマスレバ、契約上ノ義務トシテ
中央金庫ハ此契約條項ニ從テ貸サネバナ
ラスコトニナルノデアリマシテ、其契約條
項ニ違反スル場合ニハ、特別ニ中央金庫法
ニ依テ色ニ制裁ガアルノハ勿論デアリ
マシテ、是ハ單純ナ中央金庫法ノ改正ノ一
部ト御覽ニナレバ宜シカラウト思ヒマス、
從テ中央金庫法ニモ中央金庫ノ業務トシ
テ何ミスルコトガ出来ナイト云フコトガ書
イデアルト同ジデアリマス、中央金庫ノ義
務ハ政府ト中央金庫トノ補償契約ニ依テ
貸出スノデアリマス、補償契約ヲ締結シタ
以上ハ、中央金庫ハ其義務ヲ免レルコト
ガ出来ナイト云フコトニナルノデアリマ
ス

○野中委員 今ノ政府ノ答辯ヲ以テ稍、滿

足ヲ致シマシタ、即チ「特別融通ヲ爲スコ
トヲ得」ト云フノハ、單ニ方向ヲ指示スル
モノデアッテ、實際上政府ガ貸出スコトヲ
認め、産業組合中央金庫トノ間ニ契約ヲ結
シタ時ニ於テハ、貸サナケレバナラヌト云
フ事情ノ説明ヲ聽キマシテ、洵ニ喜ビト致
シマス、併ナガラ之ヲ一般的ニ見ル場合ノ
手續上ノ問題或ハ方向ヲ指示スト云フ意味
ニ解釋スルコトガ出来ルカドウカ、所謂文
字解釋デアリマスカラ、此點ニ付テハ大
シタコトハ必要トシマセヌノデアリマス
ガ、此場合ニ誤解ノナイヤウニシ、寧ロ是
ハ「特別融通ヲ爲スコトヲ得」ト云フコ
トヲ制ツタ方却テ一般ノ人ガ此法律ヲ見
テ、能ク理解スルコトガ出来ルデナカラウ
カ、私モ只今質問シタカラ初メテ手續上ノ
問題デアルト云フコトヲ了承出来マシタ
ガ、質問シナイ人カラ見ルト、是ハ出来ル
ノデアルカ、出来ナイノデアアルカト云フ、
所謂結果カラ得ラレルノデアアルカドウカト
云フコトニ對シテ疑問ヲ有ツト思ヒマス、
其點ニ於テハ政府ト雖モ固執スルコトハナ
イト思ヒマスガ、其點ニ付テハ能ク御説明
ヲ求メテ置キマス

續イテ第二條ノ問題デアリマス、昨日農
林大臣ノ御説明ニ依レバ、此中央金庫カラ

ノ特別融通ハ据置五箇年間デアッテ、更ニ
十五年ト云フコトデアリマシテ、此特別融
通ヲ爲シマシテカラ、前後通算致シマスレ
バ二十箇年ニナルノデゴザイマスガ、是ハ
昨日農林大臣ガ明瞭ニ申サレタト思ヒマス
カラ、隨テ其言葉ト其本文トノ内容ガ異ナ
リマスルガ、是ハ何レヲ正當トスルノカ、
何レヲ正當ト見タ方ガ宜シイノデアリマス
カ、政府委員ノ御意見ヲ承リタイ

○小平政府委員 第二條ノ此貸付ハ十五年
ノ期限デアリマス、昨日大臣カラ申上デマ
シタノハ、此貸付トハ別ノ問題デアリマシ
テ、低利資金ノ延期ノ場合ノ新規貸付ハ五
箇年据置デ、十五年ノ年賦償還トナルト云
フノデアリマシテ、是トハ全然違フノデア
リマス、左様御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマ
ス

○野中委員 併ナガラ事實ニ於テハ同一ナ
者ニ貸付ケルノデハナイデセウカ、此點ニ
付テノ御意見ヲ御伺致シタイ

○小平政府委員 事實ニ於テハ違フノデア
リマス、此方ハ各個ノ組合ガ貯金ヲ集メテ
來テ、ソレヲ組合員ニ貸付ケテ、組合員ガ
償還困難デ固定シテ居ルト云フ、其固定シ
タ債權ヲ質入シテ、中央金庫デ貸スノデア
リマス、一方ノ新資金ヲ供給シテ、預金部

ノ償還ヲ延期スルト云フ方ハ、國ノ低利資
金ヲ以テ貸付ケテ居ル資金ヲ延期スルノデ
アリマシテ、是トハ全然違ッテ居ルノデア
リマス、低利資金ノ方ハ産業組合モアレ
バ、耕地整理組合モアリマス、各種ノ事業
ニ預金部カラ出テ居ル、其貸付ヲ延期スル
ノデアリマシテ、此方ハソレトハ違ッテ、
組合ノ貯金ヲ集メテ來テ貸付ケテ、ソレガ
固定シテ居ル爲ニ、ソレヲ滑カニシテヤラ
ウト云フノデアリマシテ、資金ノ行き途ガ
全然違ッテ居ルノデアリマス、左様御諒承
ヲ願ヒマス

○野中委員 今政府委員ノ御答辯ニ依リマ
スレバ、第一條ニ於ケル貸付ト、第二條ニ
於ケル貸付トハ性質上違フノデゴザイマス
カ、モウ一遍改メテ御質問ヲ致シマス

○小平政府委員 第一條ノト第二條ノトハ
同ジデゴザイマス、第一條デ特別融通ト云
フ、其特別融通ヲスル期間ハ三箇年デ、其
特別融通ノ期限ハ十五年ト云フコトデ、第
一條ノ特別融通ヲ更ニ具體的ニ茲ニ表ハシ
タニ過ギナイノデアリマス

○野中委員 シテ見ルト、此中ニ於キマシ
テハ低利資金ノ貸出ハ有ルノデアリマス
カ、無いノデアリマスカ

○小平政府委員 低利資金ヲ特別ニ中央金

庫ニ一億圓貸付ケルノデアリマス、其貸付ハ今申上ゲタ通りニ、個々ノ組合ノ固定シタ債券ヲ質入シテ、中央金庫デ貸付ケルノデアリマス、低利資金ハ一億圓出ルノデアリマスガ、ソレハ償還延期ノ低利資金トハ別途ニ出ル譯デアリマス、左様御諒承ヲ願ヒマス

○野中委員 シテ見ルト、此中央金庫特別融通ト云フモノト、今申シマシタ低利資金ト云フモノトハ別個ノモノデ出ルノデアリマス

○小平政府委員 別個デ出ルノデゴザイマス

○野中委員 シテ見レバ、是ハ今承リマス所ニ依リマス、個々ノ産業組合カラ集メタモノヲ貸出ス場合ノ問題デアリマス

○小平政府委員 是ハ個々ノ組合ガ組合員ニ貸付ケテ固定シテ居ルモノニ對シテ、ソレヲ質入シテ、中央金庫デ預金部カラ借りテ來ル一億圓ノ低利資金ヲ貸付ケル譯デアリマス

○野中委員 分リマシタ、シテ見ルト是ハ又別ノ問題デ、今度ハ特別融通ト云フノハ、此産業組合中央金庫特別融通デ、損失補償ト云フモノハ別ニ新シク出ルノデアリマス

○小平政府委員 一億圓ノ低利資金ヲ供給スルコトガ即チ特別融通デアリマス、損失補償ト伴ッテ居ル特別融通デアリマシテ、其特別融通資金ガ一億圓ニナッテ居ルノデアリマス

○野中委員 能ク諒解致シマシタ、ソレカラ又第三條ニ特別規定ガゴザイマスガ、此特別規定ハ五箇年ノ短期償却ノモノデアリマス、併ナガラ長期ノ貸付ニ對スル償還ノ困難ト云フコトモ、亦此五箇年ノ短期償却ノ貸付ニ對スル所ノ償還ノ困難ト云フモノモ、同一ノ現狀ニアルノデハナカラウカト考ヘマスガ、之ヲ特ニ適用セズト致サレマシタ理由ヲ御伺シタイト思ヒマス

○小平政府委員 此第三條ノ規定ハ、第一條ト伴ッテ居ル規定デアリマシテ、第一條ノ特別融通ト云フモノハ、從來ノ中央金庫法ノ貸付ノ規定ニ制限セラレズニ貸付ガ出來ルト云フ規定ニナッテ居ルノデアリマス、隨テ第一條ノ特別融通ト云フモノニ對スル貸付ノ方法ハ、今迄ノ中央金庫ノ貸付ノ方法ニハ依ラナイノダト云フコトヲ茲ニ表ハシテ居ルノデアリマス、中央金庫法ノ從來ノ規定ハ、五箇年以内ノ定期償還貸付ケダノ、三十箇年以内ノ年賦償還ノ貸付ダノ、ソレカラ其年賦償還貸付ニ付テハ、拂込資金及

産業債券發行額ノ二分ノ一デアルト云フヤウナ色ニナ制限ガアリマスガ、今回ノ特別融通ハ産業組合法、中央金庫法ニ規定シテ居ル從來ノ制限ニ依ラズニ、此法律ニ依ッテ貸付ガ出來ルト云フ意味ヲ表ハス爲ニ、從來ノ制限セラレタル規定ヲ全部此處デ除イテ特別融通ニハ適用シナイノダト云フコトヲ表ハシテ居ルノデアリマシテ、隨テ從來ノ固定貸ガ十年デアラウガ、十五年デアラウガソレハ何モ選擇ヲシテ居リマセヌ、總テノ固定貸ニ貸付ケルノデアリマスガ、從來ノ産業組合中央金庫法ノ制限ニ依ラズニ貸付ガ出來ルト云フ意味ヲ表ハシタノデアリマス

○野中委員 其意味ハ御説明ヲ待タナイデモ分ッテ居ルノデアリマス、即チ十三條第一號ノ規定中貸付年限及償還方法ニ關スルモノト云フヤウナモノハ、從來ノ中央金庫法ノ貸付ケテ例外ノ貸付デアリマセウ、併シ私ハ内容的ニ實際上カラ御伺スルノデアリマス、普通ノ貸付規定ニ依テ貸付ケマシタ其金額ノ返還ガ困難デアルノモ、亦特別方法ニ依テ貸付ケマシタ金額ノ償還ガ困難ナノモ、現在ノ經濟狀態ニ於テハ、償還ガ同ジヤウナ意味ニ困難デアラウト考ヘルノデアリマス、ソレデアリマスカラ同ジ困難ノ

モノデアルトスルナラバ、其實情ニ即シタ所ノ救済方法ガ適當デハナカラウカ、此意味ニ於テ政府ハ詰リ特別ノ貸付デハアルケレドモガ、此十三條第一號ノ規定中ノ例外規定、或ハ十三條第二號但書ノ例外規定、サウ云フモノニモ貸付ラレルモノデハゴザイマセヌカ、ドウデスカ

○小平政府委員 十三條ノ例外規定デ貸シテ居ルモノニモ勿論貸ス譯デアリマス、併シ其期限ハ十五年ト云フコトニナル譯デアリマス、例外規定デ貸シタモノニハ勿論固定貸ノ流動化ノ資金ヲ貸付ケルコトニ相成ルノデアリマス

○野田委員 今ノ政府委員ノ御説明デ分リマシタ、第一條ト同様ニ、此例外規定ノ方ニモ同ジ條件ガ適用サレルト云フコトヲ聽イテ、所謂實際上ニ於テ、此中央金庫カラ借りテ居リマス所ノ窮乏セル産業組合ヲ救済スル意思ノアルト云フコトハ諒承致シマシタ、續イテ御質問申上ゲマスルガ、産業組合法中改正法律案ノ中ノ十條ノ三デアリマス、農事實行組合ト云フノハ、是ハ地域組合ニナッテ居リマスガ、其農事實行組合ノ地域組合ハ、所謂強制加入制ヲ認メル農事實行組合ニナルノデアリマセウカ、ドウデアリマセウカ、御伺シタイト思ヒマス

○小平政府委員

此農事實行組合ハ一ツノ

ヤウニ、言葉ハ悪イカモ知レマセヌケレド

來ノ特融ハ勸銀、農銀ヲ獎勵シテヤッタニ

部落位ナ區域デ、農村民ガ隣保共助ノ精神

非常ニ政府ノ恩典ニ預クニ拘ラズ、單リ

モ、吾ミカラ見レバ不良ト見ルヤウナモノ

拘ラズ、今回ハ中央金庫ニ限ッデヤルコト

デ昔カラシテ組織シテ居リマス實行團體ト

此信用組合ガ其恩典ニ預ラナカッタ、當時

ガ非常ニ多イ、ソレデ今度ノコトニ對シマ

ニナリマシタコトハ、私ハ一面カラ言ヘバ

云フモノヲ、産業組合ニ入レルコトニナル

ノ大藏大臣ハ高橋サンデアリマシタガ、高

シテハサウ云フ意味ヲモ十分ニ含メテ戴イ

組合ノ發展ノ爲ニ宜イト思フノデアリマ

譯デアリマス、別ニ此實行組合ハ強制加入

アルカラ、政府カラ補助ヲスルノハイカヌ

デ、折角政府ガ獎勵シテヤラウト云フノデ

カナイ、ドウシテモ中央金庫ガ全國ニ相當

デモ何デモアリマセヌ、現在任意組織デ約

ト云フコトデ之ヲ取ラレタ、今回モ此聲ガ

シテ、今迄ノハ少クトモ活カシテ、全體ノ

ノ支店ヲ設ケテ、此機能ヲ發揮セシメルノ

十七萬モ出來テ居ル、其實行組合ガ産業組

起ツタ時ニ其根本思想ヲ有セラレル高橋サ

産業組合ノ信用ヲ増スガ爲ニ缺陷ガアッテ

ハ中央金庫ノ支店ヲモツ殖ヤスト云フヤ

合カラ肥料ノ配給ヲ受ケタイ、信用組合カ

居ツタ所ガ、是程ノ法案ガ出タコトヲ私ハ

モ、特ニ保護シテ行クト云フ御考ガアル

ウナ指導ノ精神ハナイカ、又サウ云フ場合

ラ金ヲ借リタイト云フ場合ニ、此實行組合

農林當局ニ對シテ非常ニ感謝スルノデアリ

カ、ドウカト云フコトニ對シマシテ御答ヲ

ニ於ケル聯合會ト中央金庫ニ於ケル機能ニ

ニモ團體トシテ貸付ガ出來ルト云フノデア

マスガ、併シ其一般ノ組合ハ此二大天災ト

對シテ將來何トカシヨウト云フ御考ハナイ

ノデアリマセウカ、此機會ニ此點ヲ伺ヒマ

リマシテ、別ニ強制加入ノ團體デハアリマ

言ヒマスカ、「パニック」ノ時ニ銀行ト較ベ

今御尋ノヤウナ困ツタ組合カラ固定貸ヲ流

ス

セヌ

テ非常ニ差別待遇ヲ受ケタト云フコトノ熱

動化シテ行ッテ、日本全體ノ産業組合ノ難

局ヲ打開シタイト云フノデアリマシテ、出

○野中委員

所謂農事實行組合ト云フノ

來ルダケ御希望ニ副フヤウニ致シマシテ、

總テノ組合ガ此特別融通ニ依テ生還ッテ、

ハ、現狀ノ儘ニ於テ産業組合カラ金ヲ借り

ガ加ハッデ居リマス、今日ノ時局ハ日本全

更生サレテ來ルヤウニ致シタイト考ヘテ居

リマス、中央金庫ニ對シテモ特ニ注意ヲシ

ル爲ニ此法ヲ設ケラレタト云フコトニ對シ

テハ、同意デアリマスカラ、ソレニ關スル

テ、サウ云フ力ニ依テ蘇生サセルコトノ出

來ルヤウニ十分督勵致シタイト思ッデ居リ

質問ハ是デ打切りマス、マダ逐條的ナ質問

ガゴザイマスガ、大體ニ於テ不審デアルト

東京、神奈川ノ如キ地方ニハ被害ガ多イ、

是ハ制定日モ淺クシテ理事者ノ經驗モ、監

私共ノ考ヘマシタコトハ以上申上ゲタコト

ニ大震災災デ酷イ影響ヲ蒙ツタ地方、或ハ

督モ宜シキヲ得ナイ點モアリマスガ、當局

ニ於キマシテハ無暗ニ獎勵指導ヲ爲サレ過

デアリマシテ、又細カイコトニ付デハ逐條

是ハ制定日モ淺クシテ理事者ノ經驗モ、監

督モ宜シキヲ得ナイ點モアリマスガ、當局

ニ於キマシテハ無暗ニ獎勵指導ヲ爲サレ過

審議ノ場合ニ質問ヲシタイト思ヒマス、私

ハ是デ質問ヲ打切りマス

ニ於ケル市街地信用組合ニ對シテハ特別ナ

答ヲスルマデニマダ農林省ノ意見ガ決マッ

○星島委員

私ハ今回ノ特融ハ主トシテ農

村並ニ市街地ノ中小商工業者ノ實行組合ニ

對スルモノト思ヒマスケレドモ、從來大震

火災デ非常ナ打撃ヲ蒙リ、又昭和二年ノ「パ

ニック」ノ際ニ他ノ金融業者、殊ニ銀行ハ

非常ニ政府ノ恩典ニ預クニ拘ラズ、單リ

此信用組合ガ其恩典ニ預ラナカッタ、當時

ノ大藏大臣ハ高橋サンデアリマシタガ、高

橋サンノ根本論トシテ組合ハ共存共榮デ

アルカラ、政府カラ補助ヲスルノハイカヌ

ト云フコトデ之ヲ取ラレタ、今回モ此聲ガ

起ツタ時ニ其根本思想ヲ有セラレル高橋サ

ンノコトデアリマスカラ、實ハ密ニ危ンデ

居ツタ所ガ、是程ノ法案ガ出タコトヲ私ハ

農林當局ニ對シテ非常ニ感謝スルノデアリ

マスガ、併シ其一般ノ組合ハ此二大天災ト

言ヒマスカ、「パニック」ノ時ニ銀行ト較ベ

テ非常ニ差別待遇ヲ受ケタト云フコトノ熱

ガ加ハッデ居リマス、今日ノ時局ハ日本全

國ニ互ッテノ匡救デアリマスカラ、殊更ニ聲

ヲ大キクスルコトハ出來ナイカモ知ラヌ

ガ、サウ云フ沿革ヲ御酌取りニナッテ、殊

ニ大震災災デ酷イ影響ヲ蒙ツタ地方、或ハ

東京、神奈川ノ如キ地方ニハ被害ガ多イ、

是ハ制定日モ淺クシテ理事者ノ經驗モ、監

督モ宜シキヲ得ナイ點モアリマスガ、當局

ニ於キマシテハ無暗ニ獎勵指導ヲ爲サレ過

ギタ爲ニ非常ナル缺陷ガアッタ、缺陷ガア

ル所ニ持ッテ來テ、此二大災厄ニ遭ツタノデ

アリマス、先刻野中君ノ御話ニナリマシタ

御高配ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、從

テ居ラナイノデアリマス、併シ此支所ノ方ハ寧ロ中央金庫ノ總代會アタリ決メベキ問題デアリマシテ、行政官廳ガ設置ヲ命ズルト云フコトハ容易ナラザルコトデアリマスカラ、十分是ハ中央金庫ノ理事者ニモ考ヘサセ、又總代會ニ於テモ十分斯ウ云フ點モ練ッテ戴イテ、善處スルヤウニ致シタイト思フノデアリマス、ソレカラ聯合會ノ中間ニ介在スル點ハ、是ハ産業組合間ニ於テハ多年ノ問題デアリマスガ、マダ農林省トシテハ意見ハ決マッテ居リマセヌガ、私ノ考トシテハ、寧ロ聯合會ト云フヤウナモノヲモウ少シ強クシテ、サウシテ聯合會ガ矢張地方金庫ト云フヤウナ一ツノ重大ナル使命ヲ見出セルヤウニシマシテ、中央金庫ノ資金ヲ相當一括シテ地方ノ聯合會、即チ信用組合聯合會ニ一括シテ渡シテ置イテ、其聯合會ノ責任デドン／＼金ガ貸セルヤウニシナケレバナラヌト思フノデアリマス、中央ノ金庫ハ個々ノ聯合會ニノミ貸付ケテ、聯合會ガ個々ノ組合ニ自由ニ貸付ケルト云フ方法ヲ採ッテ、其階段ヲ付ケテ資金ノ融通ヲ迅速ニシ、滑カニスル必要ガアルヤウニ考ヘラレルノデアリマス、是ハ考ヘ方ニ依リマシテハ寧ロ聯合會ハナクシテ、中央金庫ダケニシタ方ガ宜シイト云フ考ヘ

方モアリマスガ、ソレデハ危險分散ノ點ガ少クナリマシテ、日本全國ノ中ノ有力ナ産業組合ダケガ中央金庫カラ借りラレルコトニナリマシテ、矢張地方デ一ツノ危險分散ノ中間機關ガアリマシテ、ソコデ全責任ヲ負ッテ、相當ノ資金ヲ纏メテソコデ取引スル、其中間機關ト、個々ノ組合ト自由ニ取引スルト云フコトノ方ガ、産業組合ノ機能ヲ發揮スル上ニ於テ宜シクハナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス、併シ是ハマダ農林省トシテ決ッテ意見デハアリマセヌ、私個人トシテハサウ云フ意見ヲ有ッテ居ルノデアリマス、併シ農林省トシテハマダ決ッテ意見デアリマセヌカラ、左様御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○星島委員

大體御説明ヲ伺ヒマシテ分リマシタガ、私ハ將來矢張一縣一箇所位ノ中央金庫ノ支所ガ出來ルコトガ宜カラウト思ヒマス、サウシテ聯合會ハ今申サレタヤウニ寧ロ從來ノ聯合會ト支所トノ特別ナ連鎖關係ヲ茲ニ考慮シマシテ、只今申サレタヤウナ御考ノ下ニ少クトモ將來ハ行政區域毎ニ一箇所位ナ支所ガ設ケラレル位ニ執成サレンコトヲ希望スルノデアリマス、續イテ中央金庫ニ對シマシテ先程下ナタカラモ「コール」ヲ持タシテハドウカト云フ御話

ガアッタノデアリマスガ、是ハ洵ニ御尤ト思ヒマス、是ハ「コール」貸付ヲヤラセタノデハ、普通銀行ト變ラズ、地方ノ農村ニ危險ナ貸付ヲスルヨリモ其方ガ利益ガアルカラ、其方ニ陥ル弊ガアリマスケレドモ、或ル期間ヲ限ッテ中央金庫ニ金ガ集リ過ギタヤウナ場合ニ「コール」ヲ取ラセルト云フコトハ、最モ宜イコトダト思フノデアリマス、モット必要ナコトハ今或者ガ銀行ノ小切手ヲ使ッテ居ル、是ハ中央金庫法ガ出來ル當時ニモ吾々委員トシマシテ、ソレヲ主張シタノデアリマスガ、今以テ實現サレナイ、即チ少クトモ中央金庫ナリ、或ハ聯合會程度ナリハ一般人ノ加入出來ル小切手ヲ——是ハ大藏當局ト農林當局ガ少シ力ヲ

協セテ下サレバ、必シモ不可能デハナイト思ヒマスガ、最早實施スベキ時代ガ來テ居ルヤウニ思フノデアリマス、今一步御考ヲ願ヒタイト思フノデアリマスガ、是等ノ點ニ付キマシテ最近何カ御考ガアルノデアリマスカ

○小平政府委員

此點ハ仰セノ如ク中央金庫設立當時カラノ問題デアリマシテ、出來ルダケ手形交換所ニ加入サセルヤウニシタイト云フノデ、大藏省トモ交渉シ、努力シテ居ルノデアリマスガ、手形交換所ノ組合側

デ中ミマダ應ジナイヤウナ狀況デアリマスノデ、是ハ出來ルダケ此問題モ早く解決シタイト思フノデアリマスガ、併シ勸業銀行デモ相當ノ期間代理交換デヤッテ居ッタヤウナ事情デアリマシテ、此問題ヲ解決スルコトハ相當困難デアラウト思フノデアリマスガ、極力努力シテ、サウ云フヤウニ相成ルヤウニシタイト思フノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○星島委員

保證責任ノ問題デ度々議論ガアリマシタガ、有限責任ノ組合ニ致シマシテモ、事實上借入金ニ對シテハ殆ド無限責任ノ保證致シテ居リマスガ、此信用組合ニ對シテハ、預金者ニ對シテ無限責任ノ責任ガアルノデアリマスガ、是ガ所謂選舉權平等ノ關係カラ致シマシテ、強制的ニ理事ヲ罷メサセラレタ場合、ソレカラ又進ンデ一身上ノ都合ニ依テ理事ヲ辭メマシタ場合ニ於テモ、一旦保證シマシタ所ノ其保證責任ハ理事ヲ辭メマシタ後ニ於テモ永久ニ現在ノ民法カラ見マスレバ保證責任ガ掛ッテ來ルノデアリマスガ、最近何カ此點ニ付キマシテ判例ガアッタヤウニ聞キマシタガ、將來理事ヲ強制的ニ組合員カラ罷メサシタ場合ニ、而モ其理事者ハ、理事者ガ保證スベシトノ規定ハアリマセヌケレドモ、事實

上今マデノ取扱ガ、責任上理事者ハ常ニ借

入金ニ對シテ保證致シテ居ル、所ガ理事ヲ

辭メテ、三年五年ニナツタ、或ハ七年ニナツ

タニ拘ラズ、續イテ現在ノ組合ノ成績ニ何

モ關係ノナイ、或ハ其組合ヲ脱退シテ居ル

人スラ尙ホ舊來ノ就任時代ニ、多クハ形式

上ノ旨判ヲシタモノニ對シテ、永久ニ責任

ヲ負フコトニナツテ居ルノデアリマスガ、

普通一般カラ言ヒマスレバ、三年經テバ責

任ハナクナルガ、是等ノ理事ニ對シテモ法

ノ精神ハ三年以上經ツタ後ニ於テハ、當然此

債務保證、所謂組合ノ債務保證ニ對シテハ

免除サルベキガ私ハ當然と思フ、或ハソレ

ニ近い、或ハ其精神ニ合致シタ判例ガアッ

退スレバ責任ガナクナルト云フ判例ガアッ

タカドウカ、私マダ記憶致シマセヌガ、其

點ハ調べテ御答致シタイと思ヒマス、出來

ルナラバ理事者個人ノ保證ト云フコトハ止

メタイと思フノデアリマス、從來ノ遺方デ

ハドウモサウ云フ場合ニハ他ノ新シク理事

ニナツタ人ガ保證ヲ取更ヘルト云フコトノ

手續ヲ採ルヨリ外ニハ方法ガナイと思フノ

デアリマス、ソレデ法律デ將來何年間ト云

フコトヲ規定スルト云フコトハ、ドウモ産

業組合トシテハ個人保證ヲ取ラセヌト云フ

原則デアリマシテ、法律デ其期限ヲ切ルト

云フコトハ甚ダ困難ナコトカと思フノデア

リマス、サウスレバ矢張組合ノ保證責任ト

東京市内ノ市街地ニ於キマシテハ創業時代

デアルカラ、何方ニモ無理ガアル爲ニ、辭

メテ五年六年經ツニ拘ラズ、何時マデモソ

レガ付イテ廻ツテ非常ナ負擔デアルト云フ

コトガアルノデアリマス、私ハ能ク覺ユマ

セヌケレドモ、昨年ヤハリ此産業組合法ニ

合致シタヤウナ判例ガアツタヤウニ思ヒマ

スノデ、是ハ寧ロソレ等ノ判例ヲ御研究ノ

上善處サレンコトヲ希望致シマス

次ニ商業組合ト産業組合トノ關係デアリ

マスルガ、是ハ既ニ他ノ方カラ質問ガアリ

マシタガ、一點疑念ガアリマスノハ、今回ノ

商業組合法デ營業ヲ統制サレル、其統制ノ

範圍ハドノ程度マデヤルカト云フコトハマ

明示ヲ願ヒタイ

○小平政府委員 商業組合法ト産業組合法

トノ關係ハ、御説ノ通り商業組合法ガ總テ

ノ商品ヲ販賣スルモノヲ統制スルコトニナ

リマス、是ハ大變ナコトニナルノデアリ

マス、産業組合ノ蒙ルベキ影響ハ非常ニ大

ナルモノガアルト思フノデアリマス、其點

ヲ商業組合法制定當時商工省ト十分打合セ

マシテ、又法制局ニ於テモ農林省カラ關係

官ガ會議ニ加ハリマシテ、結局商業組合法

ノ第一條カト思ヒマスガ、勅令ニ依テ商業

組合法ノ組合員トナル者ノ資格ヲ勅令デ決

メルコトニ相成ツテ居ルノデアリマス、其

勅令ノ中ニ産業組合又ハ産業組合聯合會、

即チ此關係ニ於キマシテハ購買組合、購買

組合聯合會、販賣組合、販賣組合聯合會等

ヲ除クト云フコトニスルヤウニ兩省ニ於テ

協議ガ纏ツテ居ルノデアリマシテ、隨テ商

業組合法ガ施行サレル場合ニ於テハ、勅令

ヲ以テサウ云フ除外例ガ設ケラレルコトニ

ナルノデアリマシテ、此點ハ尙ホ商業組合

法施行マデニ十分其通りニナルヤウニ農林

省デハ必ズ實現サセルコトガ出來ルト思ッ

テ居ルノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒタ

イト思ヒマス

○星島委員 私ハモウ一點購買組合ノコト

トハ尤モナコト、思フノデアリマス、殊ニ

デアリマシテ、保證責任ニシタイト云フコ

ニ付テ御尋致シマス、從來此産業組合ハ先
程戸田君ノ御尋ノ通り營業稅、營業收益
稅、所得稅ノ如キ免除ニナリマス、信用組
合ニ對シマシテハ低利資金ヲ出サレテ非常
ニ之ヲ助長獎勵サレルコトハ洵ニ當ヲ得タ
コト、思フノデアリマス

唯斯ウ云フ問題ガ起ッテ來タノデアリマ
ス、是ハ都會地ノ所謂小商人ノ間ニ於キマ
シテノ聲デアリマス、過當ニ保護サレテ、

ソレガ爲ニ害ヲ被ル、本當ヲ言ヘバ産業組
合ニ付キマシテモ過當ニ保護サレナイデ、

唯共同精神ニ依テ事實上ノ聲價ヲ増スコト
ガ本當ト思フノデアリマス、購買組合ニ於
キマシテ、殊ニ鐵道従業員及陸海軍關係ノ

購買組合ノ如キハ必要以上ト言ヒマスカ、
非常ナ運賃割引ヲシマシテ過當ナ保護ガア
リマス爲ニ、勿論自分ノ從業シテ居ル所

ノ機關ニ依テノ關係デアリマスカラ、物ノ
道理カラ言ヒマスレバ當然デアリマスガ、

ソレガ餘リ當ヲ失スル爲ニ、近イ人達ガ其
組合ヲ通シテ色々ナ物ヲ買フト云フコトガ

起ッテ居ルダラウト思ヒマス、吾々ハ保護
ハ大ニ望ム所デアリマス、保護ガ現在行ハ
レテ、ソレガ爲ニ小商業者ノ如キハ、營業

稅ヲ拂ヒ、所得稅ヲ拂ヒ、色々ナ税金ノ裡
ニ苦ンデ居ルト云フコトデアリマス、同ジ

ク購買組合ノ間ニ於キマシテモ、是ハ非常
ナ運賃其他ニ付キマシテハ恩惠ヲ被リ、經
營上差別的ノ待遇ヲ受ケルノデアリマス、
此事ニ付キマシテ最近斯ウ云フ申出ガアリ
マス、サウ云フコトガ多クアリマスガ、之
ニ對シテ當局ハ何カ御考ガアルカ、私ハ將
來ニ於キマシテ是等ニ付テ善處サレンコト、
ヲ望ムノデアリマス、御意見ガアレバ伺ッテ
置キタイ

○小平政府委員 鐵道省アタリノ購買組合

ガ非常ニ物ヲ安ク運ブト云フコトニ付キマ
シテハ、商工業者ノ方カラ色々苦情ガ出
テ、ソレガ購買組合ニ影響シテ來ル點ヲ認

メテ居ルノデアリマス、是ハ鐵道省關係デ、
中ニ農林省トシマシテソレヲドウ斯ウト
云フコトハ出來ナイノデアリマス、併シ御

趣旨ノ點ハ十分考慮致シマシテ購買組合ノ
機能ガ公平ニ發揮サレルヤウニ致シタイト

思フノデアリマスガ、是ハ他省トノ關係ニ
ナリマスノデ今ドウスルト云フコトヲハッ

キリ申上ゲル譯ニハ行カナイト思フノデア
リマス、左様御諒承ヲ願ヒマス

○星島委員 近時「デパートメントストア」
ガ非常ナ發達ヲシテ居リマスノデ、都會ノ

商業者ガ非常ニ困難ヲ致シテ居ルコトガ問
題ニナリ、其反映トシマシテ商品券ニ關ス

ル法律案ガ今期議會ニ出タヤウナ次第デア
リマスガ、私ハ一面カラ申シマスレバ「デ
パート」ハ時勢ノ要求デアルト思フ、餘リ
今日都會地ニ於テハ共食、殆ド統制ナク、
同ジ營業者ガ同町内ニアルカラ苦シムノデ
アッテ、其根本ヲ直サナイデ、徒ニ自己ガ苦
シイカラト言ウテ、此文化的ノ一般ノ希望

ニ副フ現在ノ「デパート」組織ヲ抑ヘルト
云フコトハ、私ハ卑怯ダト思ヒマス、或程
度ニハ勿論必要ト思ヒマスガ、其意味カラ

申シマスレバ購買組合ノ組合員若クハ組合
員以外ニ、英國ニアリマスヤウナ購買組合

ニ「デパート」ヲ將來許サレルヤウナ方針
ガ私ハ然ルベシト思ヒマス、ソレニハ商工

當局ニ於キマシテモ各區々ニナクヤウナ
モノヲ、所謂營業ノ統制ヲ行ハレルコトヲ

前提トスル次第デアリマスガ、將來ノ方針
トシテハ、私ハソコマデ進ンデ行クコトガ

本當ト思ヒマスガ、サウ云フコトニ付キマ
シテモ御意見ガアレバ、今ノ時勢ノ問題デ
アリマスカラ農林當局ノ御意見ヲ御聽シタ
イト思ヒマス

來ルカドウカノ問題デアリマスガ、是ハ非
常ニ大キナ問題デアリマス、員外販賣ヲシ
タ方ガ生計用品ノ購買組合ガ發達スルカド
ウカ、是ハ農林省ト致シマシテモ慎重ニ考
慮シテ居ル次第デアリマシテ、之ニ付テハ
マダ意見ヲ申上ゲルマデニ進ンデ居リマセ
ヌ、今迄ノ所デハ員外販賣ヲ認ムルト云フ
コトガ、必ズシモ消費組合ノ發達ニナルト
ハ考ヘテ居ラナイノデアリマスガ、此點ハ
十分調査シテ、ドウ方面ニ進ンダ方ガ宜カ
ラウカト云フコトヲ決定シタイト思ッデ居
リマス、只今ノ所ハ員外販賣ヲ認ムルコト
ハマダ考ヘテ居ラナイノデアリマス、左様
御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○星島委員 最後ニ損失補償制度ノ組織ノ

概要ヲ伺ッテ質問ヲ終リタイト思ヒマス、ド
ウ云フ制度デ、ドウ云フ制度デドウ云フ人

ガナルカト云フ……

○小平政府委員 補償審査會ノ組織ハ矢張
關係官モ入リマスガ、其外ニ産業組合關係

ノ民間ノ營業者モ入レマシテ、公平ニ損失
ヲ決定シタイト思ッデ居リマス、其員數ト
カ、具體的ニドウ云フ方面カラ入レルカト
云フヤウナコトハ、マダ決定シテ居リマセ
ヌガ、産業組合關係ノ適當ナ人ヲ入レテ委
員會ヲ組織スルコトニ考ヘテ居ルノデアリ

マス、此委員會ハ極ク簡單ナ委員會デアリマシテ、損失決定委員會デアリマスカラ、人數モサウ多數ノ人ヲ以テ委員ヲ組織スルコトニセズ、少數ノ人デ組織サセテ、是ハ速ニ決定スル必要ガアリマスカラ、委員會ノ開會ノ數ハ可ナリ多イ數ニナルト思ヒマス、隨テ之ヲ少數ニシマシテ、手取り早ク委員會ヲ開ケルヤウニシタイト思フノデアリマス、併シ産業組合ニ利害關係ガ非常ニ多イノデアリマスカラ、産業組合關係ノ適當ナ人ヲ入レタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○星島委員 私ノ質問ハ終リマシタ

○樋口委員長 高橋君ガ今ノ問題ニ關連シテ質問ガアルサウデスカラ、高橋君ニ許シマス

○高橋委員 中央金庫法ノ第二十三條中ノ「一箇年」ヲ「六箇月」ニ改メル、即チ決算期ヲ半箇年ニ縮メテ、年二回ノ決算ヲ爲サシメルト云フコトデアリマス、他ノ一般下級ノ産業組合ニ於テハ一箇年ヲ認メテ居ル、場合ニ依テハ半箇年モ許ス、斯ウ云フヤウナ提案ノヤウデアリマス、其様ニ承知致シテ居リマス、又當局ノ御意思デハ、購買組合等ハ半箇年ニスル意思ガアルト云フヤウナコトモ申述ベラレタヤウデア

リマスカ、要スルニ下級農會ハ從來ノ通り原則ヲ一箇年ト認メテ宜カラウト思フ、又農事關係等ニ於キマシテハ、半箇年ノ六月ニ決算ヲ致スト云フコトハ困難ナ話、農繁期ノ眞最中ニ於テ決算ヲ致スト云フコトハ、困難ナバカリデナク、收支ノ上ニ於テ頗ル困難ナ事情ガアルト吾々ハ考ヘテ居ルノデアリマス、左様デアリマスカラ、一般農村ヲ本位トスル産業組合ニ於キマシテハ、ドウシテモ一箇年ノ決算期ヲ至當ト吾々ハ認メテ居ルノデアリマス、而シテ其上ニ立ツ中央金庫ノコトデアリマスカラ、矢張り一般産業組合ト同じ歩調デ行カナイト云フト、諸種ノ支障ガアルドラウト思フノデアリマス、年二回總會ヲ開ク爲ニ經費ガ多額ニナルトカ、或ハ全國カラソレノ議員ヲ集メルト云フコトハ煩雜デアル、費用ガ掛ルト云フバカリデナク、吾々ハ決算ノ上ニ於テ不都合ガ生ズラウト思フノデアリマス、ソレガ故ニ一箇年ヲ六箇月ニ改ムルト云フコトハ寧ロ改惡デハナイカト、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、一二監督上ノ事バカリヲ吾々ハ考ヘテ居ル譯ニ行カヌノデアリマス、仕事ノ能ク圓滑ニ出來得ルト云フコトヲ、此場合特ニ考慮シテヤラナケレバナヌト吾々ハ考ヘ

ルノデアリマス、ソレデ監督ノ便ニ供スル爲ニ、從來ノ一箇年ノ期間ヲ六箇月ニ縮メルト云フ以外ニハ、如何ナル理由ガアッテ御改正ニナラレルカト云フコトヲモウ一應御説明ヲ御願致シマス

○小平政府委員 御質問ハ此中央金庫ノ事業年度ヲ六箇月ニ改メルト云フ點ニアツタカト思ヒマス、農村ノ組合ハ從來通り一年ニシテ置ク積リデアリマス、中央金庫ノ問題グラウト思ヒマスガ、此六箇月ニ改メルト云フ改正案ヲ提案シタ理由ハ、一面ニハ行政廳ノ監督ノ點モアリマスカ、一面ニハ中央金庫ガ全國ノ一萬二千ノ産業組合デ組織サレテ居リマシテ、其中央金庫ノ經營ニ付テハ總代會ト云フモノガ中央金庫ノ經營ノ重要ナコトヲ決定スルコトニ相成ッテ居ルノデアリマシテ、從ッテ中央金庫ハ總代ノ意向ニ依テ其經營方法ヲ合理的ニセネバナラスノデアリマス、其中央金庫ニ對スル總代ノ意思ヲ發表スルニハ、一年ニ一回デハ餘リニ少ナイヤウニ考ヘマシタノデアリマス、中央金庫ノ總代ガ中央金庫マデ出張ッテ來ルノハ、甚ダ御迷惑ト思フノデアリマスルガ、併シ中央金庫ノ機能ヲシテ、十分農村ノ組合ニ、又市街地ノ組合ニモ徹底スルヤウニスルニハ、一年ニ二回總代會

ヲ開イテ、サウシテ前半年ノ色々事業ノ經過ヲ報告シテ、ソレニ付テ批判ヲ求メテ、後半年ノ事業ハ更ニ總代ノ意見ニ依テ、各組織員ノ満足スルヤウニ中央金庫ノ經營ヲサセタイト云フ理由カラ、六箇月ニシタイト云フノデアリマス、總代會ハ行政官廳ト對立デハアリマセヌガ、行政官廳ノ監督以外ニ中央金庫ヲ監督シ、中央金庫ヲ事實的ニ構成シテ行ク唯一ノ機關デアリマスカラ、總代會ト云フモノヲ一年ニ二回開イテ、十分其機能ヲ發揮サセタイト云フノデアリマシテ、行政廳ノ監督ノ都合バカリデハナイ、中央金庫ノ組織員ヲシテ、中央金庫自體ヲヨリ能ク運用サシテ行カウト云フ爲ニ、一年ニ二回中央金庫ニ對シテ決算ヲ出サセテ見テ、其批判ヲ總代ニ仰イデ、サウシテ中央金庫ノ改善ヲサセテ行キタイト云フ理由カラ此六箇月ニ改ムル規定ヲ提案シタ譯デアリマス、左様御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○星島委員 此程度デ一應休憩サレテ、ソレノ相談シタイト思ヒマス

○樋口委員長 ソレデハ質問ハ是デ終了スルコトニ致シマス、御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○樋口委員長 ソレデハ暫ク休憩シマシ

テ、今日中ニ決定シテシマヒタイト思ヒマ
スカラ、五時ニ又開クコトニ致シマス、是
デ休憩シマス

午後三時二十二分休憩

午後五時十分開議

○樋口委員長 休憩前ニ引續キマシテ開會
致シマス、今日ハ是デ散會致シマス、次ノ
會議ハ公報ヲ以テ御知ラセスルコトニ致シ
マス

午後五時十一分散會

衆議院産業組合中央金庫特別融通及損失
補償法案外二件委員會議錄第二回中正誤

頁	段	行	誤	正
三	一	一〇	準備條文	準用條文